

2023年度 事業報告

2023.04.01 - 2024.03.31

2024年度 事業計画

2024.04.01 - 2025.03.31



統合報告書 2024

INTEGRATED REPORT 2024

福祉樂団
FUKUSHI GAKUDAN

ケアを考え“くらし”を良くし 福祉を変える

ケアの真価は、「これが本当にその人の最善なのかどうか」を問い合わせ、考えることです。

そうした思考をベースとしながら、ケアを実践し、

昨日よりも今日の、今日よりも明日の“くらし”を良くしていかなければなりません。

目の前の人にくわい合い、小さな実践でも、一層、一層、積み重ねていくことを大切にします。

そして、実践から見えてきたものを発信し、提言し、議論する姿勢をもち、

つねに福祉のあり方を問い合わせなおします。



民主的な社会に暮らす方法を学びたいのならば、オーケストラで演奏するのがよいだろう。

オーケストラで演奏すれば、自分が先導するときと追従するときがわかるようになるからだ。

他の人たちのために場所を残しながら、同時にまた自分自身の場所を主張することはいっこうにかまわない。

A. グゼリミアン編『バレンボイム／サイド 音楽と社会』（中野真紀子訳）から

当事者への思い

いつまでも自分らしく安心して生活したい。そんな思いに私たちは「ケア」を通して応えていきます。

- 当事者の最善の利益を追求します。
- 持てる力、健康な力を活用し高めるケアを実践します。
- 生活の視点で当事者をみつめ、社会でのつながりを大切にします。

社会への思い

私たちは、社会のなかで真価のある存在を目指します。そのため、地域と協働し、自然環境とともに歩む姿勢を忘れません。

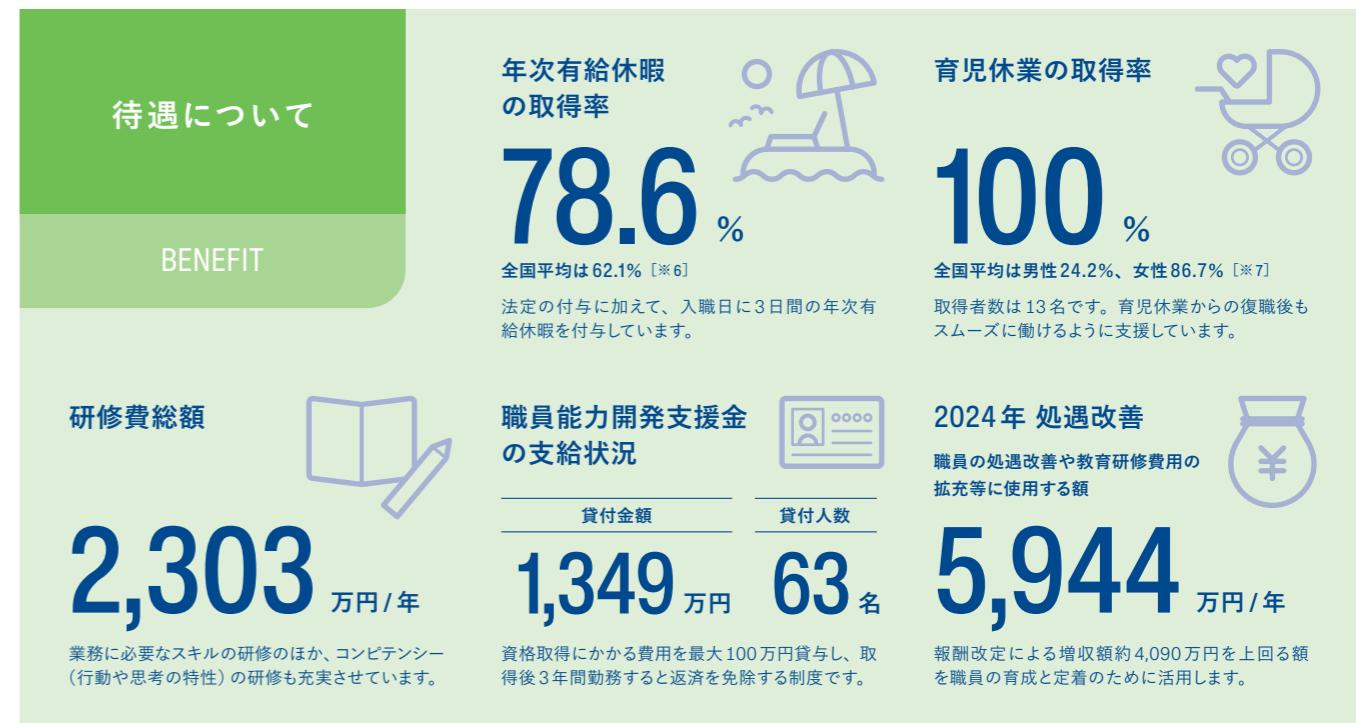
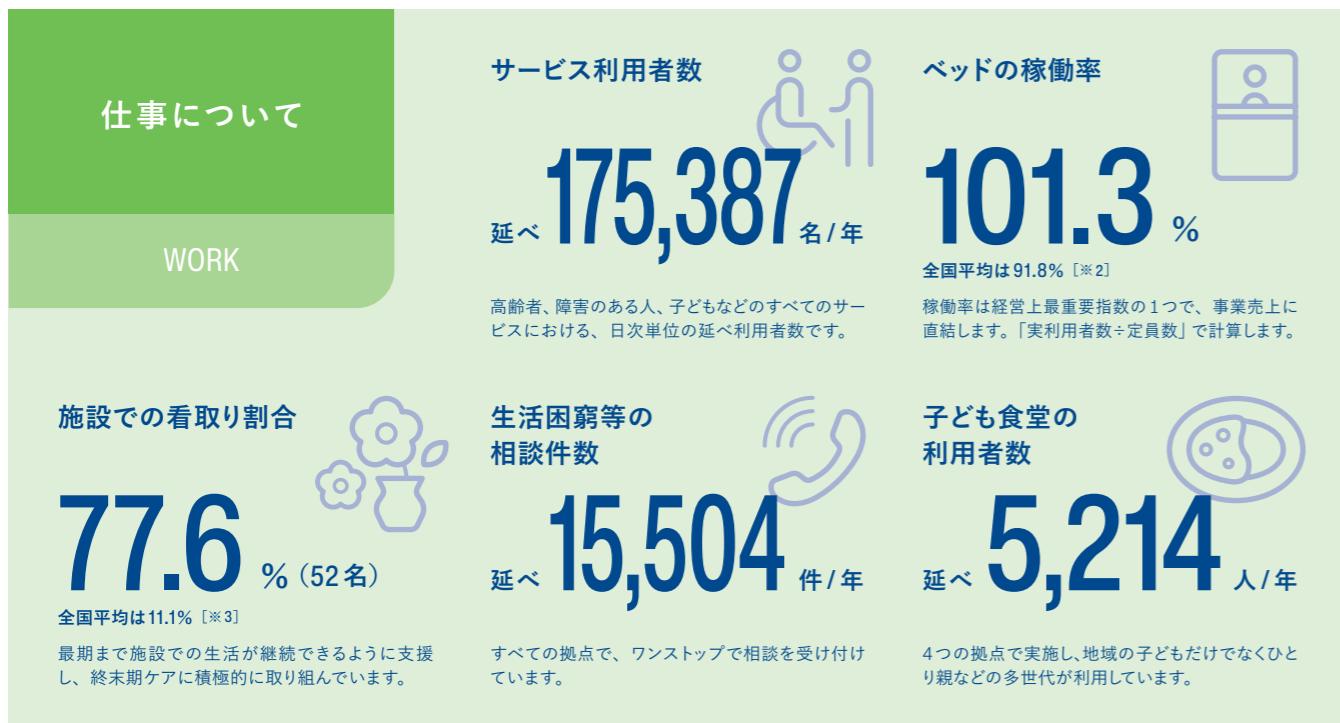
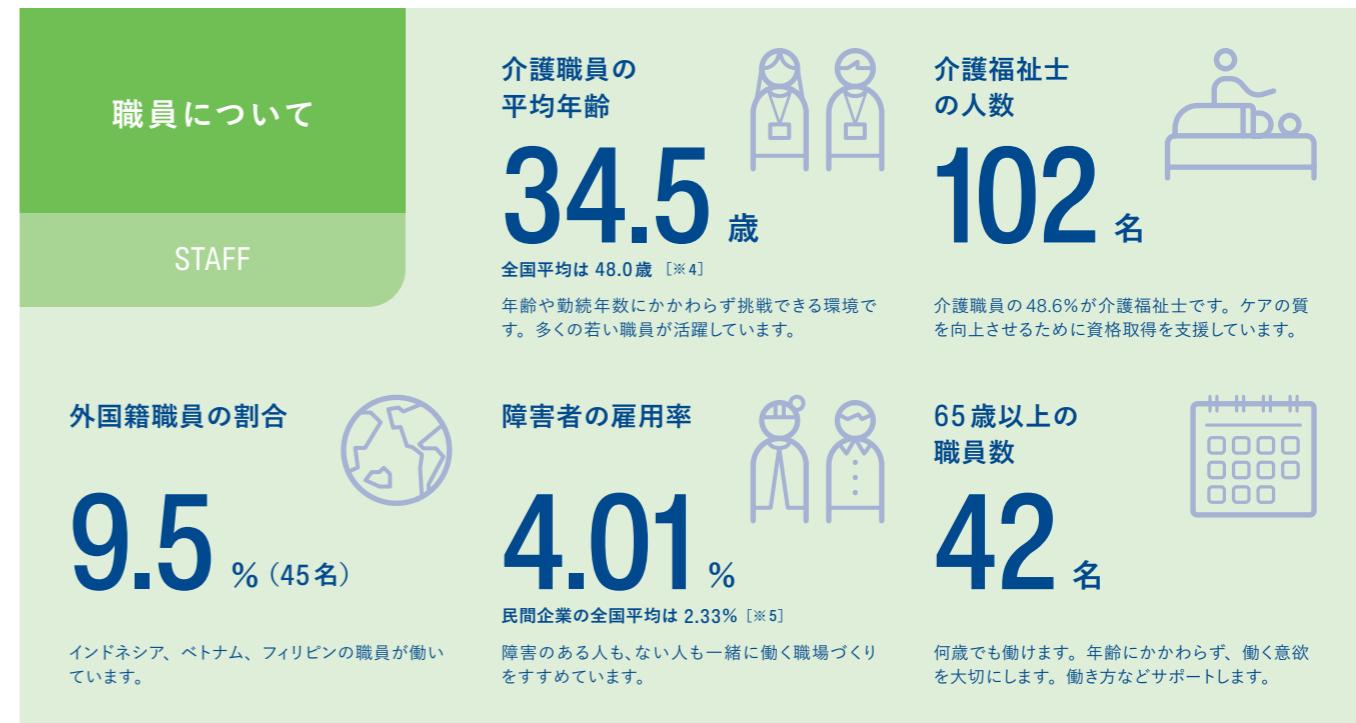
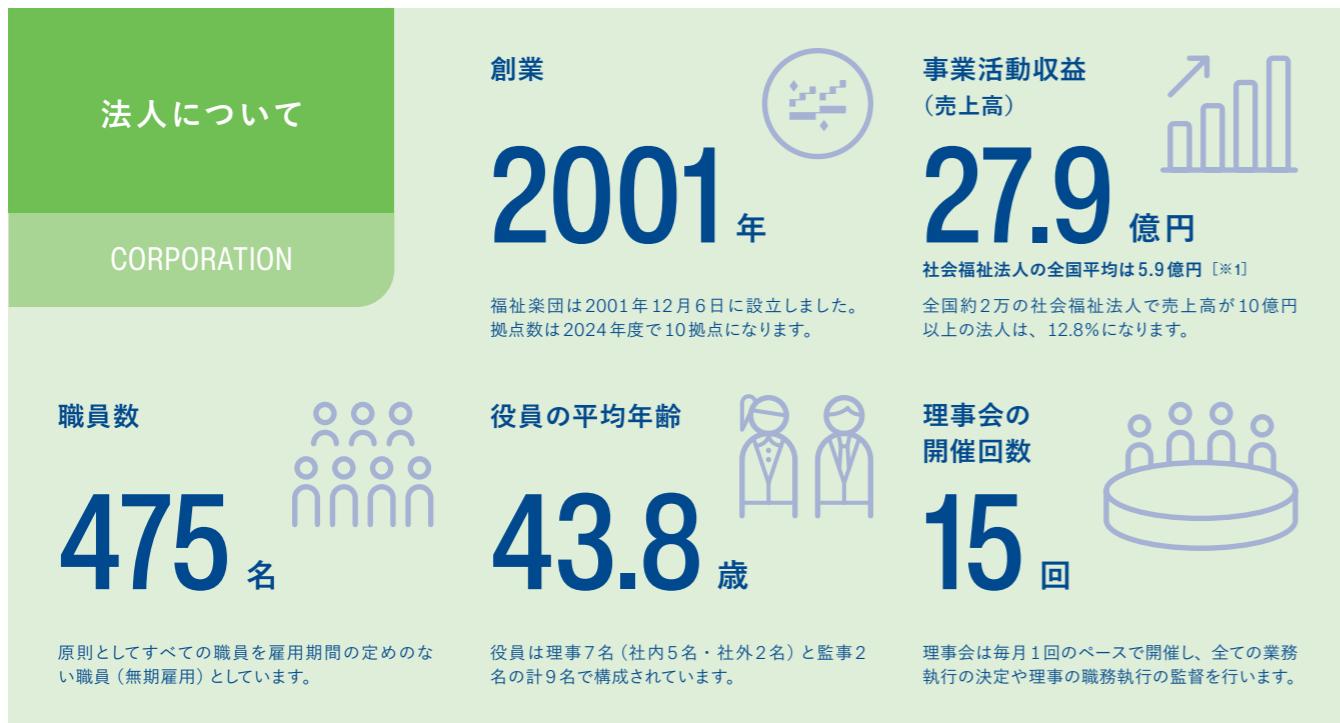
- 社会福祉法人として公益的な事業をすすんで行います。
- 情報を公開し、透明性の高い経営を実践します。
- 嘘をつかず正義を希求し勇気をもって行動します。

職員への思い

よりよい福祉実践のためには、職員が安心して働く環境と、成長できる機会が大切です。長期的な視点をもって人材育成に取り組みます。

- 広く社会で活躍できる人材を育成します。
- 職員の能力を活かし、「楽しい」ことを大切にします。
- 多様性を受け容れ、安心して働く環境を整えます。

数字で見る福祉楽団



※1「社会福祉法人の現況報告書等の集約結果（2023年度版）」（WAM NET）を参照 ※2「2022年度 特別養護老人ホームの経営状況について」（独立行政法人福祉医療機構）から、定員規模 100 人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照 ※3「2022年度 人口動態調査」（厚生労働省）から、「死亡場所別にみた年次別死亡数」を参照

※4「令和4年度 介護労働実態調査」（介護労働安定センター）を参照 ※5「令和5年 障害者雇用状況の集計結果」（厚生労働省）を参照 ※6「令和5年 就労条件総合調査」（厚生労働省）における「年次有給休暇の取得状況」を参照 ※7「令和4年度 雇用均等基本調査」（厚生労働省）における「育児・介護休業制度に関する事項」を参照

CONTENTS

06 2023年度事業報告	26 2024年度事業計画	34 福祉楽団について
06 トップメッセージ	27 中期経営計画	34 施設概要
07 役員体制	28 事業方針	35 組織図
08 トピックス	29 事業計画	36 沿革
10 コーポレート・ガバナンス	33 資金収支計算書	37 法人概要
11 財務情報		38 ご寄附のお願い
17 基礎データ		
22 そのほかの報告事項		

社会福祉法人 福祉楽団 統合報告書 2024

編集方針 本報告書は、コンヴィヴィアル（Convivial）な社会の実現を目指す福祉楽団が、当法人とかかわる皆様とのコミュニケーションを深めることを目的に作成しています。「ケアを考え“くらし”を良くし 福祉を変える」ミッションとして取り組む事業や活動について説明しています。本報告書の作成にあたり、グローバル・レポートイング・イニシアティブ（Global Reporting Initiative、GRI）によるガイドライン「GRIスタンダード」を参照しています。

発行日 2024年7月1日 発行人 理事長 飯田大輔

社会福祉法人 福祉楽団
〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目 6 番地 1

TEL 043-307-2828
FAX 043-307-4848
E-Mail info@gakudan.org
HP https://gakudan.org/



この冊子は、森林管理協議会（Forest Stewardship Council®）が認証する適切に管理された森林からの原料を含む FSC® 認証紙を使用しております。

REPORT

2023年度 事業報告

2023.04.01 - 2024.03.31



経営基盤づくりと新しい挑戦をすすめます
激変する社会情勢に対応し

数年前にパレスチナをひとりで旅行したことがあります。荒涼とした大地、オリーブを栽培する農家、ヨルダン川西岸の緊張感を思い出し、いまのパレスチナ情勢を憂慮しています。殺戮と人権侵害が一日も早く静まり、パレスチナ国家の早期の樹立と平和的な解決にすむことを強く望みます。

こうした世界の不安定さは、福祉事業の経営環境にも大きな影響をもたらしています。円安の進行は、食材や介護資材の値上げにつながっていますし、外国人職員の人材確保を難しくさせています。物価上昇率を見れば、介護報酬のアップは実質アップにつながっていません。施設整備をすすめているなかでは長期金利の動向を注視しなければなりません。激変する社会情勢に対して、非常に高度な経営の舵取りが求められています。

2023年10月には、社会的養育を充実させるための「OUR KIDS基金」を創設し、多くの市民、企業、団体からご支援をいただいております。引き続き、社会課題を発信し、具体的な解決

策を提案し、寄附文化につなげていく活動をすすめてまいります。新たな取り組みとなる児童養護施設「実穂パークサイドハウス」や看護小規模多機能「実穂パークサイドテラス」は2024年12月に開設いたします。香取市内には障害者グループホームの整備計画や新たな就労支援拠点のプロジェクトにも着手いたしました。

福祉楽団は、制度の“スキマ”で困っている人に、新しい発想と新しいやり方でアプローチし事業を行ってまいります。社会福祉法人としての責任を再認識するとともに、価値を高めていく福祉を実践してまいりますので、今後とも変わらぬ応援をいただきたくお願い申し上げます。

2024年7月
社会福祉法人福祉楽団
理事長 飯田 大輔
Mitsuru Iida

BOARD MEMBER 役員体制



理事長
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2001年 当法人 入職
2003年 杜の家くりもと事業部 生活相談員
2008年 杜の家やしお事業部長
理事
2017年 理事長（現任）
兼職（社外）：(株)恋する豚研究所 代表取締役、(株)香取農業耕社 代表取締役、(福)愛川舜寿会 理事、(福)ゆうゆう 理事
飯田 大輔 (46)



常務理事／財務担当 兼 コーポレート統括部長
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2014年 当法人 入職
総務部 職員
2016年 経理部長
2017年 理事
2022年 常務理事（現任）
コーポレート統括部長（現任）
兼職（社外）：ケアコラボ（株）取締役
岩田 直樹 (41)



常務理事／安全・CS担当（内部監査人）
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2003年 当法人 入職
杜の家くりもと事業部 介護職員
2011年 杜の家やしお事業部 施設福祉サービス部長
2014年 杜の家やしお事業部長
2017年 常務理事（現任）
兼職（社外）：無
大枝 真弓 (41)



理事／安全・CS担当 兼 杜の家なりた事業部長
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2008年 当法人 入職
杜の家やしお事業部 介護職員
2016年 杜の家やしお事業部長
2018年 理事（現任）
2020年 杜の家なりた事業部長（現任）
兼職（社外）：無
安部 明子 (48)



理事／安全・CS担当 兼 杜の家やしお事業部長
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：有
略歴：
2009年 当法人 入職
杜の家やしお事業部 介護職員
2015年 地域ケアよしかわ事業部長
2017年 理事（現任）
2020年 杜の家やしお事業部長（現任）
兼職（社外）：無
石間 太朗 (43)



理事（社外）
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2001年 ジョルジオ・アルマーニジャパン（株）入社
2010年 (福)愛川舜寿会 入職
2016年 同法人 常務理事
2017年 当法人 理事（現任）
2023年 (福)愛川舜寿会 理事長（現任）
兼職（社外）：(一社)FUKUSHI FOR CONVIVIALITY 代表理事、(福)ゆうゆう 監事、ケアコラボ（株）取締役、(一社)日本医療福祉建築協会 理事
馬場 拓也 (48)



理事（社外）
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2011年 (NPO) ゆうゆう 理事長
2013年 (福) ゆうゆう 設立 理事長（現任）
2017年 当法人 監事
2023年 当法人 理事（現任）
兼職（社外）：北海道医療大学 客員教授、(学)東日本学園 理事、(福)愛川舜寿会 理事
大原 裕介 (44)



監事（非常勤）
理事会出席回数：15/15
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2007年 税理士法人HOP 入所（現任）
2009年 税理士登録
2010年 行政書士登録
2017年 当法人 監事（現任）
2022年 行政書士法人HOP 設立 代表（現任）
兼職（社外）：(一社)成長企業研究会 理事、慶應義塾大学 非常勤講師
星川 望 (41)



監事（非常勤）
理事会出席回数：13/13
役員報酬：有 職制上の給与：無
略歴：
2006年 (福)慈愛会 入職
児童養護施設 職員
2010年 (福)みねやま福祉会 入職
2015年 同法人 児童養護施設でらす峰夢 施設長（現任）
2023年 同法人 常務理事（現任）
兼職（社外）：(NPO)スマホ里親ネット 理事長
櫛田 啓 (42)

01

実粋パークサイドハウスが着工

千葉県習志野市で準備をすすめている児童養護施設「実粋パークサイドハウス」が2023年9月7日に着工し、起工式を執り行いました。要介護の高齢者が「通い」や「泊まり」ができる看護小規模多機能型住宅介護や、障害のある子どもが通う「放課後等デイサービス」、認知症の人の住まいとなるグループホーム「実粋パークサイドテラス」も併せて整備されます。実施する事業は、子ども、障害、高齢者など行政の福祉分野で横断的なものとなり、ワンストップで相談に乗れる体制をつくります。まさに「超多機能型」の福祉拠点となり、全国でも珍しい取り組みです。施設の周囲には壁やフェンスは設けず、誰もが気軽に立ち寄れるように工夫しているほか、地域の子どもたちが遊びに来られるバスケットボールコートもできる予定です。また、こうした新しい社会的養育のモデルを推進していくため、2023年10月から「OUR KIDS基金」を創設し、多くの市民、企業、団体から寄附をいただいている。2024年12月に開設します。



1 | 起工式で建物の説明をしている様子 2 | 実粋パークサイドの完成予定図



ウッドデッキの塗り替えをしている様子

入居者、ご家族、職員みんなで施設の大掃除

2023年6月と12月に「杜の家くりもと」(千葉県香取市)で、施設入居者やご家族、職員などが協働して掃除をおこなうお掃除イベントを開催しました。計65名のご家族等に参加いただいたほか、千葉県立小見川高校の生徒3名も参加してくれました。施設内のウッドデッキの塗り替えや、施設外周の草刈りなどをしています。掃除をしながらご家族と職員が会話をすることで、ご利用者の新たな一面を知ることもできます。大掃除のあとは施設内で交流会を行い、ご家族のみなさまから職員に励ましの言葉を多くいただきました。コロナ禍でご家族の面会や地域の人との交流がままならないことが長期に続きましたので、特に若い職員には励みと勇気につながっています。介護や人材育成を施設内にとどめることなく、多くの人のかかわりを持ってすすめてまいります。



最後の支援チームが撤収の報告を輪島市役所にしたあとの集合写真

能登半島地震における福祉避難所に
介護福祉士など105人を派遣

2024年1月1日に発生した能登半島地震に対する支援として、石川県輪島市内の福祉避難所に介護福祉士の派遣を行いました。福祉楽団を含めた6つの社会福祉法人で臨時の福祉支援チーム「FamSKO(ファムスコ)」を結成し、1月11日から2月21日までの42日間に延べ369人(うち福祉楽団の職員は105人)の介護福祉士等の派遣を行いました。施設では、水道やガスが使えず、仮設トイレもない状態で、支援活動は困難な状況が続きました。要介護者や障害のある人に対しては、安心して過ごせる居場所をつくり、体の清潔や食事などの日常生活ができるだけ早く送れるように支援することが求められます。「生活を整える」専門家である介護福祉士の重要性を再認識する機会となりました。この経験を活かし、参加法人で資金を出し合い、災害派遣の介護福祉士に必要なコンピテンシーを調査し、冊子にまとめる予定です。

03



最後の支援チームが撤収の報告を輪島市役所にしたあとの集合写真

04
4つの社会福祉法人と合同で
デンマークの福祉施設を視察

2023年10月29日から11月5日にかけて、デンマークに職員6名を派遣して視察研修を行いました。この研修は、みねやま福祉会(京都府)、愛川舜寿会(神奈川県)、ライフの学校(仙台市)と合同で行いました。視察先は、障害者施設や高齢者施設、保育園など5か所です。「エグモント・ホイスコール(国民高等学校)」は障害のある人もない人も、共に学び生活する寄宿制の学校です。障害のある学生は、障害のない学生をヘルパーとして雇用し、日常生活の世話や勉強の手伝いをしてもらっていたのが印象的です。「森のようちえん」では、晴れの日も雨の日も森の中で保育をします。「グレネス・ミレスTU」という障害のある人の作業所では、農作業をしたり、木工をしたり、アルパカを飼っていましたして「農福連携」の現場をみました。視察に参加した職員からは「自分が(外国人という)マイノリティになる経験を初めていた」とか、「保育のやり方を変えていく」という前向きな報告がありました。視察で得た学びを具体的な実践につなげる取り組みを継続してまいります。



コペンハーゲン市内のレストランで意見交換をした

05
インドで「コンパッション都市」の取り組みを視察

現地の受講者と一緒に講義を受けている様子

2023年10月に、福祉楽団の職員2名と外部の有識者を含めた6名で、インド南部のケララ州での取り組みを視察しました。目的は、「コンパッション都市」という取り組みを知るためです。コンパッションとは、苦しみや辛い経験をしている人に対する共感や一緒に苦しむというような意味があります。訪問した「コジコデ緩和ケア病院」は、癌の末期にある人に訪問診療や訪問看護を行っているほか、学生や市民をトレーニングしています。2日半のトレーニングを受けた学生は、それぞれの立場ややり方で、地域で苦しい思いをしている人の支え方や分かり合う方法を考え、実践していきます。病院側の具体的な活動があってそのための教育を行うのではなく、教育やトレーニングをしたうえで、実践や活動のあり方は学生の自由ということが目からウロコです。福祉楽団でもそれぞれの拠点でどのように実装できるのかを検討しています。

06
「はたらくデイ」はじめました

「栗源第一薪炭供給所(1K)」(千葉県香取市)では、2023年8月から認知症デイサービスの「はたらくデイ・1K(イチケー)」を開設しました。ここでは、デイサービスに通う高齢者と職員、就労継続支援B型の利用者が一緒にになって働きます。仕事の内容はサツマイモのツル切りや選別、木の玩具を紙やすりで磨く作業などさまざまです。職員やほかの利用者のお昼ごはんをつくることもあります。一般的なデイサービスだと、高齢者がサービスの受け手として固定化してしまうことが多いですが、ここでは一人の大人として働いてもらい、一緒に汗を流す仲間になります。これまで見えていなかったその人の「持てる力」が見えるようになり、地域の人や取引先などいろんな人が訪ねてくるところはやはり刺激的です。そして、仕事をしたあとのお風呂は気持ちいいですし、仕事のあと「一杯」はおいしいものです。そうした新たな活動の場所づくりをはじめています。

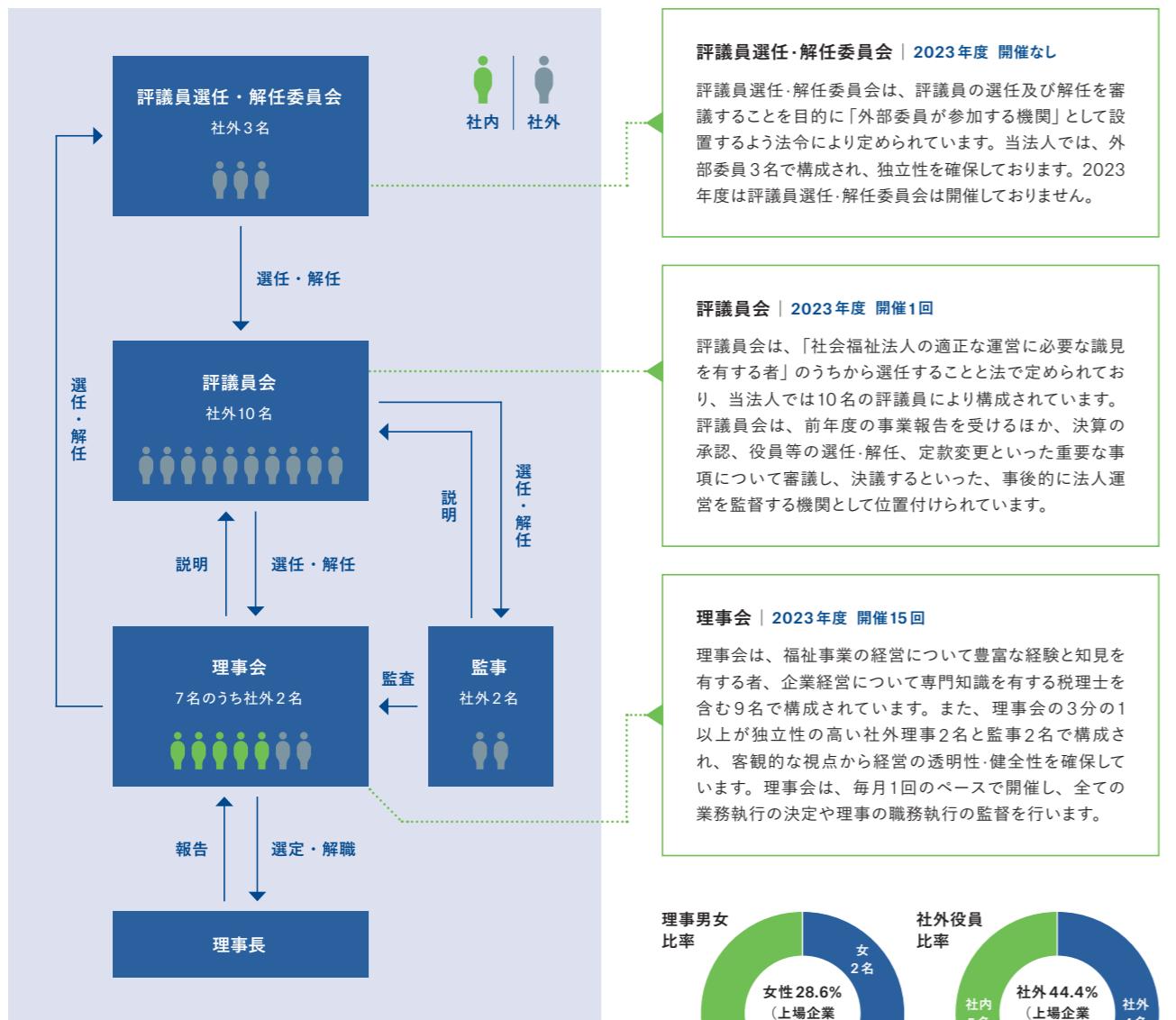


就労継続支援B型の利用者と木の玩具を磨く様子

■ コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当法人は、持続的な成長と事業活動の社会的価値の向上を重要な価値としております。その実現のためには、ご利用者、取引先、地域社会、職員など良好な関係を築くとともに、最善の福祉実践をしていくことが重要と考え、コーポレート・ガバナンスの充実に取り組んでいます。

■ コーポレート・ガバナンス体制



※1 女性役員情報サイト（内閣府男女共同参画局）のプライム市場・上場企業の女性割合を参照している。※2「コーポレートガバナンス・コード」において、プライム市場上場企業の独立社外取締役の選任は3分の1以上とされている。

■ 役員報酬

理事および監事の報酬は、2017年3月23日の評議員会で制定した役員等報酬規程に基づき、理事会および監事の協議を経て、2023年6月11日の定期評議員会で決議されています。

区分	人数	報酬等の総額	内訳		
			基本報酬	業績運動報酬	特別報酬
理事（社内）	5名	2,271	2,271	—	—
理事（社外）	2名	120	120	—	—
監事	2名	140	140	—	—
合計	9名	2,531	2,531	—	—

財務ハイライト

▶ サービス活動収益（売上高）は、前期比2.85%増の27億9,137万円となりました。

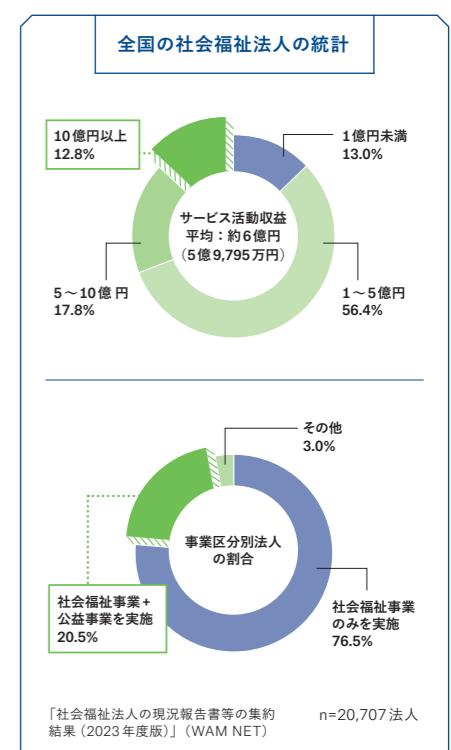
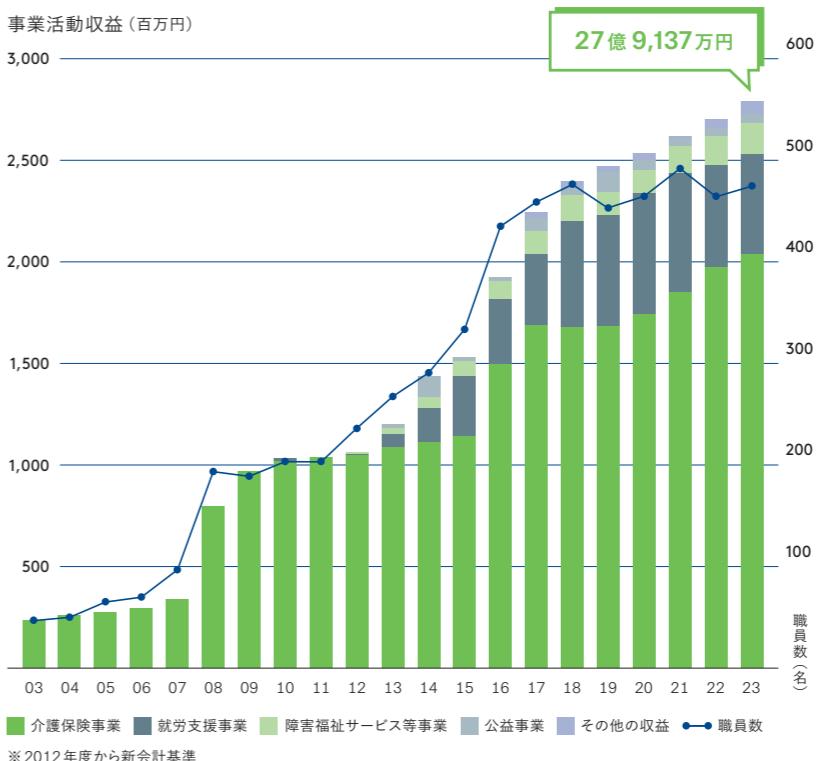
▶ 電気料金の落ち着きに助けられる形で経費が減少しました。

▶ 杜の家なりた区分は稼働が堅調に推移し、增收増益となっています。

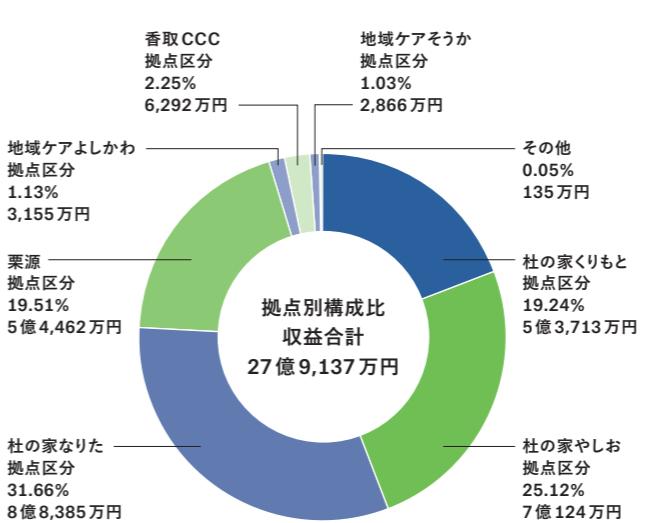
▶ 栗源拠点区分は、「恋する豚研究所」は値上げが追い付かず厳しく、「1K・農林事業部」は利用者を増やしましたが赤字となりました。

▶ 社会的養育の充実のために創設した「OUR KIDS基金」に寄せられた寄附金3,313万円を特別増減で計上し、積み立て計上しています。

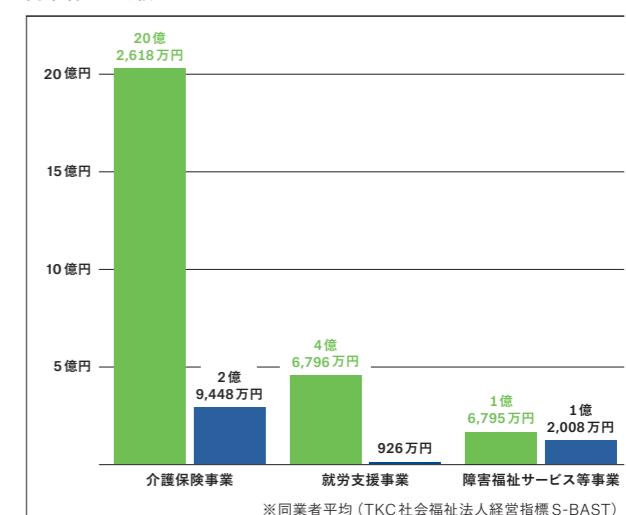
事業活動収益と職員数



収益内訳



同業者との比較



資金収支計算書（キャッシュフロー計算書）

(自) 2023年4月1日 (至) 2024年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
事業活動による収支	介護保険事業収入	2,026,186,296
	就労支援事業収入	467,961,623
	障害福祉サービス等事業収入	167,956,193
	公益事業収入	46,333,513
	経常経費寄附金収入	1,326,030
	受取利息配当金収入	9,608
	その他の収入	104,504,219
	事業活動収入計(1)	2,814,277,482
	人件費支出	1,484,561,800
	事業費支出	296,326,351
支出	事務費支出	226,009,784
	就労支援事業費用	454,419,905
	支払利息支出	21,591,115
	その他の支出	10,050,248
	事業活動支出計(2)	2,487,793,893
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	326,483,589
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	54,806,000
	施設整備等寄附金収入	33,139,874
	設備資金借入金収入	1,632,900,000
	施設整備等収入計(4)	1,720,845,874
	設備資金借入金元金償還支出	178,362,000
	固定資産取得支出	1,617,248,724
	ファイナンス・リース債務の返済支出	7,666,464
	施設整備等支出計(5)	1,803,277,188
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	▲82,431,314
その他の活動による収支	長期運営資金借入金収入	50,000,000
	長期貸付金回収入	3,335,135
	その他の活動による収入	2,250,000
	その他の活動収入計(7)	55,585,135
	長期運営資金借入金元金償還支出	48,817,000
	長期貸付金支出	3,812,422
	積立資産支出	34,301,211
	その他の活動による支出	472,200
	その他の活動支出計(8)	87,402,833
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲31,817,698
予備費支出(10)		—
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		212,234,577
前期末支払資金残高(12)		494,894,887
当期末支払資金残高(11)+(12)		707,129,464

借入金期末残高（借入先別）

2024年3月31日現在

(単位:円)

借入先	設備資金借入金	長期運営資金	短期運営資金	合計
独立行政法人福祉医療機構	1,404,585,000	120,000,000	0	1,524,585,000
京葉銀行	1,746,289,000	0	0	1,746,289,000
鏡子商工信用組合	296,660,000	12,968,000	0	309,628,000
埼玉りそな銀行	86,313,000	0	0	86,313,000
佐原信用金庫	32,270,000	7,517,000	30,000,000	69,787,000
三井住友銀行	0	47,501,000	0	47,501,000
きらぼし銀行	0	24,177,000	0	24,177,000
みずほ銀行	0	19,819,000	0	19,819,000
合計	3,566,117,000	231,982,000	30,000,000	3,828,099,000

事業活動計算書（損益計算書）

(自) 2023年4月1日 (至) 2024年3月31日

(単位:円)

勘定科目		金額
サービス活動増減の部	介護保険事業収益	2,026,186,296
	就労支援事業収益	467,961,623
	障害福祉サービス等事業収益	167,956,193
	公益事業収益	46,333,513
	経常経費寄附金収益	1,326,030
	受取利息配当金収益	9,608
	その他の収益	104,504,219
	サービス活動収益計(1)	2,814,277,482
	人件費	1,484,561,800
	事業費	296,326,351
サービス活動費用の部	事務費	220,844,474
	就労支援事業費用	477,865,193
	減価償却費	199,493,694
	国庫補助金等特別積立金取崩額	▲54,770,555
	サービス活動費用計(2)	2,624,320,957
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	167,051,557
	受取利息配当金収益	9,608
	その他のサービス活動外収益	22,895,360
	サービス活動外収益計(4)	22,904,968
	支払利息	21,591,115
サービス活動外費用の部	その他のサービス活動外費用	10,050,248
	サービス活動外費用計(5)	31,641,363
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	▲8,736,395
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	158,315,162
	施設整備等補助金収益	54,806,000
	施設整備等寄附金収益	33,139,874
	特別収益計(8)	87,945,874
	固定資産売却損・処分損	6
	国庫補助金等特別積立金積立額	54,806,000
	特別費用計(9)	54,806,006
特別増減の部	特別増減差額(10)=(8)-(9)	33,139,868
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	191,455,030
	前期繰越活動増減差額(12)	937,629,232
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,129,084,262
	基本金取崩額(14)	0
	その他の積立金取崩額(15)	0
	その他の積立金積立額(16)	34,301,211
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,094,783,051

貸借対照表

2024年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流動資産	959,725,211	流動負債	486,025,774
現金預金	408,235,379	短期運営資金借入金	30,000,000
事業未収金	445,003,761	事業未払金	185,053,331
未収金	1,809,505	1年内返済予定設備資金借入金	183,454,000
未収補助金	72,839,743	1年内返済予定長期運営資金借入金	54,481,000
貯蔵品	10,399,313	1年内返済予定リース債務	4,036,816
商品・製品	4,936,477	預り金	31,236
仕掛品	1,269,681	職員預り金	28,859,391
原材料	2,335,631	前受金	110,000
立替金	2,793,237		
前払費用	10,102,484		
固定資産	5,341,460,974	固定負債	3,563,302,680
基本財産	3,060,458,283	設備資金借入金	3,382,663,000
土地	399,316,833	長期運営資金借入金	177,501,000
建物	2,661,141,450	リース債務	2,478,680
その他の固定資産	2,281,002,691	敷金・保証金等預り金	660,000
土地	25,290,675	負債の部合計	4,049,328,454
建物	568,510,023	純資産の部	
構築物	8,518,133		
機械及び装置	70,694,982		
車輌運搬具	2		
器具及び備品	42,099,062		
建設仮勘定	1,460,029,200		
有形リース資産	2,747,308		
権利	1,418,436		
ソフトウェア	5,126,335		
無形リース資産	3,770,366		
投資有価証券	2,670,000		
長期貸付金	14,867,766		
OUR KIDS 基金積立資産	34,301,211		
設備整備等積立資産	24,000,000		
差入保証金	16,927,822		
長期前払費用	11,370		
その他の固定資産	20,000		
資産の部合計	6,301,186,185	純資産の部合計	2,251,857,731
		負債及び純資産の部合計	6,301,186,185

主要な経営指標

経営指標	算式	参考指標	法人全体	社の家 ぐりもと	社の家 やしお	社の家 なりた	栗源	地域ケア よしかわ	香取 CCC	地域ケア そうか
人件費率	=人件費 ÷サービス活動収益	※7 66.7%	56.3%	64.5%	54.0%	53.4%				

事業の経過およびその成果

2024年3月に日本銀行がマイナス金利政策を解除し「金利のある世界」に舵が切られました。しかし欧米の政策金利は4~5%超となっており、こうした要因を背景として異例の円安水準が続いております。こうした円安は、輸入資材の値上げのほか外国人材の求人を難しくさせる要因となります。消費者物価指数も上昇が続いているほか、2024年1~3月期の国内総生産(GDP)の速報値では実質成長率は年率換算でマイナス2.0%となっており、経済の不安定さが感じられます。これらマクロの経済動向から事業環境を注視していく必要があります。

2024年4月からの介護報酬が発表され全体でプラス1.59%の改定となっておりますが、直近の物価上昇や他産業の賃上げ状況を見ますと、実質ではマイナス改定とも見込まれる状況が続いております。

このような状況のなか、「ケアを考え“くらし”を良くし 福祉を変える」活動を着実に展開し、制度のスキマや本当のニーズに応える実践を重ねてまいりました。

特別養護老人ホームでは4年ぶりにすべての拠点で夏祭りを開催したほか、ご家族と一緒に施設の清掃活動やメインテナンスを行いうんこなどを行なうことができました。2022年10月から受託している草加市の「重層的支援体制整備事業」は、新しいオフィスで動きはじめたほか、2023年4月からは千葉県香取市の「生活困窮者等自立支援事業」を開始しております。2024年2月には生活困窮者や身元保証人がいない若者など住まいの確保に困っている人を支援する「居住支援法人」の指定を受けております。

当法人の当会計年度のサービス活動収益(売上高)は、前期比2.85%増の27億9,137万円となりました。(これには、新型コロナウイルス感染症対策関連補助金1,482万円、物価高騰対策関連補助金1,831万円を含みます)

介護職員の処遇改善については、フルタイム勤務者の2022年1月から12月の年間給与額(賞与を含む)を100とした場合、2023年1月から12月の年間給与額(賞与を含む)は102.1となっており、着実に処遇改善をすすめてきております。また、COVID-19は、感染症法の位置づけが5類感染症に移行ましたが、特別養護老人ホームで感染者が

発生した場合の対応に変化はなく、依然として介護職員等に大きな負担がかかっている状況があります。こうした状況を踏まえ、COVID-19に対応した介護職員や看護師等に1人最大60,000円の一時金の支給を行っております。職員の教育研修費は、コロナ禍により中止していた対面研修や海外研修などを再開させ、コロナ禍前の水準に戻りつつあります。宿泊型の集合研修やインドヤデンマークの視察研修を行っております。採用活動費は新規事業に必要な人材を確保するため採用イベントへの出展や採用パンフレットの制作などを積極的に行い、前期比910万円増なっています。人材採用の状況は厳しい状況が続いておりますが、いまのところ介護職員等の人材派遣、人材紹介会社などは利用しておりません。

法人全体の電気料金については、節電の効果と電気料金の落ちつきなどもあって、前期比2,970万円減なっておりますが、動向が見通せない部分があるので注視しています。食材の値上がりは続いており、2023年8月に特別養護老人ホーム等の食事料金と食材原価の見直しを行いました。食材原価は10%増しております。2023年10月からはリネン類のリース料の値上げがあり、入居者の身体を拭く「清拭布」で1.4倍、タオル類で1.2~1.3倍となっております。リネン類だけで年額換算すると400~600万円の費用増が見込まれます。その他、紙おむつ、使い捨て手袋なども値上がりの傾向が続いているため、こうした物価上昇への対応とともに、職員の賃上げ、処遇改善への対応をしっかりと行ってまいります。

法人全体のサービス活動増減差額(営業利益)は、前期比26.64%増、経常増減差額(経常利益)は、前期比21.61%増の1億5,831万円(経常利益率5.67%)となりました。特別増減は、杜の家くりもと拠点区分において介護職員向けの職員住宅(12世帯)の整備を行い、その費用の一部として5,480万円の補助金を受領しております。また、児童養護施設整備に伴い「OUR KIDS基金」を創設しましたので当会計年度の寄附金受領分3,313万円を計上し、貸借対照表においても従前に受領していた分を含めて3,430万円を積立金で計上しております。当期活動増減差額は1億9,145万円となりました。

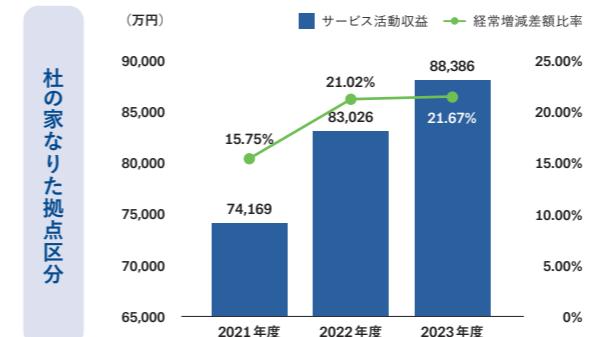


増収増益 地域ニーズの掘り起こし 子ども分野への挑戦

杜の家くりもと拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比1.17%増の5億3,713万円となりました。特別養護老人ホームやショートステイ等のベッド稼働率は横ばい、通所介護はCOVID-19の発生に伴って2023年5月から8月にかけて、サービス提供数が減少し減収となりました。訪問介護は横ばいで推移、居宅介護支援は堅調に推移しました。福祉資源の少ない地域ですので、公益活動を行うことで見えていない地域ニーズを掘り起こす活動を継続して実施していくことが事業の安定にもつながります。イワベの保育所は利用する子どもが減少したことにより401万円の減収となっており、特色ある保育に挑戦し地域の子どもを受け入れていく余地があります。離職率は低く職員は定着していると言えますが、次世代の育成がすんでいません。経常増減差額(経常利益)は、前期比72.6%増となりましたが本部経費を按分すると厳しい運営となっています。

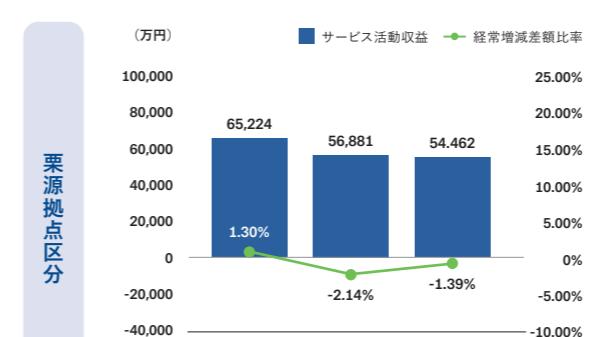
減収増益 地域向け事業は成長の余地あるがタスク整理ができないのが課題

杜の家やしお拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比0.48%減の7億124万円となりました。減収の主な要因は、居宅介護支援で必要な人員を確保できず加算が算定できない状態が続いた影響で、前期比36.81%減(▲1,168万円)となりました。特別養護老人ホーム、ショートステイのベッド稼働率は前期比0.36%上昇し、おおむね堅調に推移しました。訪問介護は横ばいとなりました。お食事配達サービス杜ごはんもニーズの掘り起こしや新たな取り組みはできずに減収となりました。ツルガソネ保育所の稼働率は横ばいで推移しました。ミドル級の人材育成が十分にできていないことや、介護職員とコミュニケーションが不足し人材の定着につながっていないことが課題です。当会計年度は電気料金が落ちきはじめたことに助けられる形での経常増益となっており、経営上の戦略不足やタスク整理が十分できていないことが課題です。



増収増益 人材の定着が課題 組織風土の改善に取り組む

杜の家なりた拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比6.46%増の8億8,385万円となりました。特別養護老人ホーム、ショートステイのベッド稼働率は、前期比0.34%上昇の102.10%と堅調に推移しました。前期からの課題でもあった職員の定着については、離職率は改善傾向にあるものの、まだ高い水準であるので継続した取り組みが必要となっています。マネジメントスタイルや組織風土の改善、コミュニケーションのあり方を工夫する必要があります。施設管理者が異動したあと、その運営ができるような施設経営のあり方、「人が残る」施設への道筋をつくることができない法人としての成長につながりません。通所介護、放課後等デイサービス、就労継続支援、訪問介護などすべての事業は好調に推移し増収となりました。当拠点の経常利益率は、前期比9.75%増となりました。



恋豚事業 減収も利益率は改善 値上げ対応が後手、売り場フォローをしっかり 農林事業 増収増益だが赤字脱却できず 製品を売る戦略と就労Bの利用者を増やす

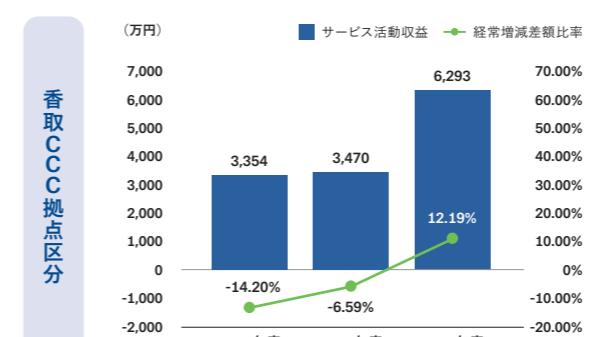
栗源拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比4.25%減の5億4,462万円となりました。「恋する豚研究所」事業の精肉の卸売部門は、2022年10月、2024年4月と段階的に値上げをしている影響などもあり、卸売部門では前期比6.91%減の3億4,859万円となっております。経常利益は改善傾向にあるものの、販売会社である株式会社恋する豚研究所との連結で見ましても厳しい状況が続いております。食堂・直売部門はコロナ禍が明け、観光や余暇の過ごし方などの変化もありレジ通過来客数は前期比11.74%減の50,115人、レジ通過客単価は前期比8.94%増の2,448円となりました。売上高は前期比4.35%減の1億2,647万円となりました。人員配置や原材料のマネジメントがうまくいかず、経常利益を押し下げました。これら「恋する豚研究所」事業の部門の経常利益は1万6千円でした。

「K・農林事業部」は、就労継続支援B型の利用者が増加したこと、農産物、林産物の売上が微増したこと、サービス活動収益(売上高)は、前期比14.73%増の5,745万円となりました。経常利益率は改善傾向にはあるものの、赤字の脱却には至っておりません。



業績は改善傾向 地域と連携した取り組みを継続

地域ケアよしかわ拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比5.0%減の3,155万円となりました。法人内の人事異動に伴って訪問介護の人員が不足傾向となり、サービス提供時間が減少しました。人件費率や経費率も改善傾向にあり、経常増減差額は▲48万円となりました。



新たな事業を受託しアウトリーチを強化

香取CCC拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、前期比81.35%増の6,292万円となりました。千葉県の中核地域生活支援センター事業では新たに「校内居場所づくり事業」を受託したことや、委託費の見直しがあったことから増収となりました。また、当会計年度から香取市の「生活困窮者自立支援事業」を年間2,364万円で受託し事業を開始しています。これらの新規の事業実施にともなって人員を配置したことから人件費は前期比1,590万円増なっています。



実質的なスタートの年 地域から信頼される活動を優先

地域ケアそらかわ拠点区分のサービス活動収益(売上高)は、2,866万円となりました。この売上のうち、草加市からの委託事業分が1,710万円、訪問介護や居宅介護支援などの事業が1,128万円となりました。相談支援などは市民の目線に立ってひとりひとりの相談者の最善を代弁することで地域から信頼される活動をしていくことを優先させています。

対処すべき課題

1

人材の定着

離職率については、前期からは改善傾向にありますが、「杜の家なりた」「杜の家やしお」で離職率が全国平均よりも高い水準にあります。人材の定着は事業継続にとって重要な課題であると認識しております。当法人においては、介護職員の離職率は12%を適正目標とし、取り組みをすすめます。理念やケアの考え方を定期的に発信し理解を促す機会をつくるほか、職場におけるコミュニケーションのあり方を継続的に見直していくことが必要です。管理職が積極的に現場に出向き、ひとりひとりの職員の声に耳を傾け、現場の課題や改善して欲しいところを掘り起こすことを行い、たとえ小さなことであっても「改善された」と職員が実感できるようなアウトカムをつくり出しています。

2

人材の育成と 人材輩出企業としての地位の確立

質の良いケアを実践していくためには、ミドル級の職員（ユニットリーダー、統括ユニットリーダー、課長級）のアセスメント能力やマネジメント能力を向上させていく必要があります。視野を広く持てて仕事にあたるよう、同業他社の見学機会や他業種との交流、広く世界の文化を知る機会を積極的につくります。「EPA」や「特定技能」の職員に対して、日本語の研修のほか、個別ニーズに応じた研修の拡充、理念の理解やケアの技術を高めていくために体系的な研修体制を構築してまいります。人事部の採用・育成課に「高度外国人材」を配置し、育成体制の強化をはかってまいります。福祉楽団での学びや経験が、職員の人材価値を高め、キャリア形成の土台になっているのかの検証をすすめてまいります。広く社会で活躍できるコンピテンシーの獲得を促進させます。

3

組織風土改革

創業から23年が経過し、当法人の「らしさ」が確立されてきた一方で、組織風土のあり方は変わってきたとは言えず、さらに改善をすすめる必要があります。職員個人や職場の「持てる力」を言語化し評価するとともに、課題の解決には、令和のマネジメントスタイルを意識していく必要があります。全職員の46.1%が平成生まれ、介護職員に限れば63.5%が平成生まれとなっているなかで生活ツールやライフスタイル、価値観の変化を理解した経営が求められます。入職年数や働き方にかかわらずすべての職員が改善と成長のために、積極的に発言し、提案し、行動できるような組織へと改革をすすめてまいります。

4

ケアの質・相談支援の質の向上と 新しい価値の提供

すべてのサービス提供において、ひとりひとりのニーズに合わせたケアの取り組みを一層すすめていく必要があります。個人のアセスメントのみならず、その人が生きてきた時代背景や、社会情勢の理解を促す機会をつくります。福祉実践の場面では、SNSの知識や、LGBT+Qへの理解、家族、仕事、働き方などが多様化していることの理解と、そうした多様である人の存在を認めていく態度が一層必要になってきています。様々な当事者の声を聴く機会をつくり小さくても新しい福祉実践をつくり、新しい価値が提供できるように取り組みをすすめます。また、ご利用者の生命と人権が守られるように安全・CSのための取り組みを継続してすすめてまいります。当法人のケアの方針や福祉実践の考え方については積極的に発信をし、ご利用者やご家族等に丁寧に説明を行ってまいります。

5

バックオフィスの効率化

物価高騰が続くなかでケアの質を維持、向上させるためには、バックオフィスの業務をさらに効率化していくことが求められます。各種取引先との「契約書」や、ご利用者様への「請求書」、「介護サービス利用契約書」など紙ベースになっている業務について、電子化の検討をすすめます。事業拠点と法人本部で事務作業が重複しているところがないか、「電子帳簿保存法」など法令制度へ対応で過剰な対応になっているところはないかなどの点検をすすめ、無駄の削減と事務の効率化をすすめてまいります。バックオフィスの業務はアウトソースの活用などを検討しながら、長期的に肥大しないよう注意しながら業務改善に取り組んでまいります。

6

新事業の安定的な立ち上げと工程管理

実戦パークサイドハウスなど新事業の開設準備を着実にすすめます。事業立ち上げの時の赤字を最小限にしつつも、事業に必要な人材を確保し、ケアの質向上のための研修を計画的に行ってまいります。また、大学や研究機関と連携し、最新のナレッジや研究成果を現場実践に活かせる取り組みをすすめます。

寄附者となる企業や団体、篤志家に対して、経営状態や財務状況、業績の実績、今後の見通しなどを広報し、継続的な寄附や支援活動につなげていくための活動（DR: Donor Relations）部門をつくり、人員配置を行ってまいります。

その他、自治体と連携し、積極的に事業提案をしながら市民のための地域福祉が推進できるよう取り組んでまいります。

BASIC DATA 基礎データ

職員について

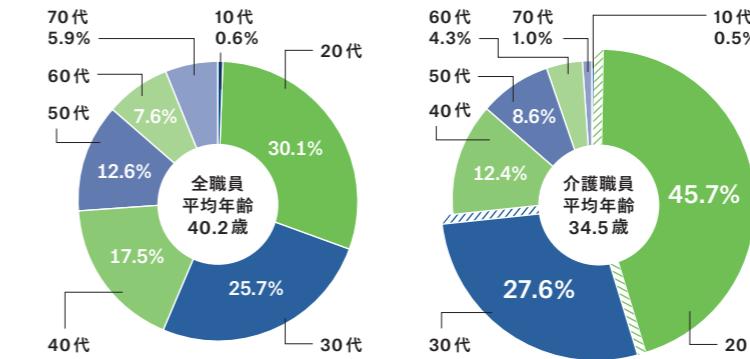
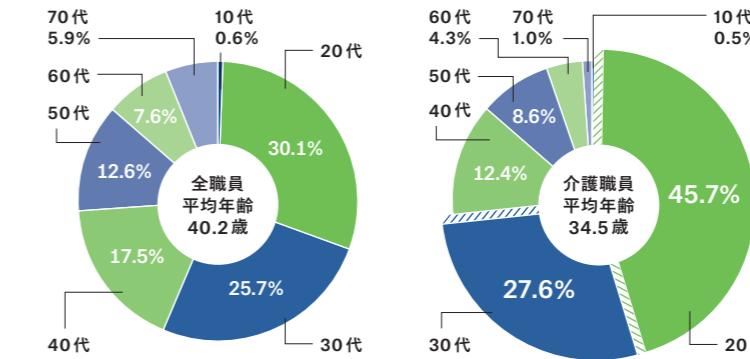
働き方の区分

▶ 働き方の区分は「労働時間の長さ」と「勤務の柔軟性」の組み合わせにより9区分に分類されます。1日4時間や週3回勤務など、ライフステージやそのときのやりたいことに応じて働き方を選ぶことができます。また、働き方を問わず全職員が無期雇用となります。

	F 事業所限定 (変則勤務不可)	R 事業所限定 (変則勤務可)	N 全拠点 異動可	計
1 週30時間以上40時間以内	64	268	11	343
2 週20時間以上30時間未満	51	0	0	51
3 週20時間未満	80	1	0	81
計	195	269	11	475

小 ← 勤務の柔軟性 → 大

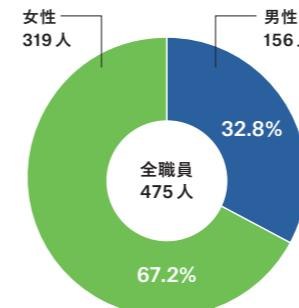
年齢



▶ 介護職員における全国の平均年齢は48.0歳（※）です。福祉楽団の介護職員は20代から30代の職員が73%を占めており、若い職員が活躍しています。

※全国の平均年齢は「令和4年度 介護労働実態調査」（介護労働安定センター）を参照した。

男女比



▶ 課長相当職以上（役員を含む）の男女比は、男性が59.0%・女性が41.0%となっています。企業規模300～999人における全国平均の比率は、男性が93.8%・女性が6.2%（※）のため、全国平均より多くの女性が管理職として活躍しています。

※全国平均は「令和4年度 雇用均等基本調査」（厚生労働省）を参照した。

障害者の雇用率

4.01 %

（障害者の法定雇用率 2.30 %）

▶ 民間企業の全国平均は2.33%（※）ですが、福祉楽団では4.01%となっています。法人全体で33名の障害のある人を雇用しています。

※全国平均は「令和5年 障害者雇用状況の集計結果」（厚生労働省）を参照した。

外国籍職員の雇用状況

国籍	在留資格					合計
	介護	特定技能	技能実習	特定活動(EPA)	その他	
インドネシア	3	5	0	19	0	27
ベトナム	0	0	0	2	0	2
フィリピン	0	0	0	16	0	16
合計	3	5	0	37	0	45

ケルさん(39)



杜の家クリエイティブ
ケアサービスワーカー
フィリピン出身

2023年12月 EPA 介護福祉士
候補者として福祉楽団に入職

日本は清潔と安全で有名なので、日本で働くことは15歳の頃に決めました。福祉楽団は学習のサポートや文化への配慮があります。介護の仕事を楽しく、排泄介助が一番好きです。休みの日は、家事やフィリピンの家族と話します。買い物はいつも近所です。フィリピンの家の近所はにぎやかでしたが、「杜の家クリエイティブ」とは静かで、私はそのほうが好きです。日本語を上手に話せるようになって、介護福祉士の国家試験に合格できるようにがんばります。

平均勤続年数・採用率・離職率

介護職員

	平均勤続年数	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]
2021年度	3.9	29.4% [16.7%]	13.8% [14.7%]
2022年度	5.0	25.5% [15.7%]	22.9% [14.6%]
2023年度	4.9	23.6% [16.3%]	18.6% [14.9%]

※全国平均は「令和4年度 介護労働実態調査結果」(公益財団法人介護労働安定センター)を含む過去3年分を参照した。※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用(離職)率=当該年度の採用(離職)者数÷前年度末日の在籍者数

全職員

	平均勤続年数	採用率 [全国平均]	離職率 [全国平均]
2021年度	5.6	22.8% [14.7%]	13.8% [14.2%]
2022年度	6.1	18.4% [14.4%]	19.1% [13.5%]
2023年度	6.2	20.4% [14.4%]	15.2% [15.3%]

※全国平均は「令和4年度 就労条件総合調査」(厚生労働省)を含む過去3年分を参照した。※上記はフルタイム職員を対象として算出した。

※採用(離職)率=当該年度の採用(離職)者数÷前年度末日の在籍者数

新規学卒者の状況

	採用者数	3か月未満の離職者数	3か月以上6か月未満の離職者数	6か月以上1年未満の離職者数	1年未満の離職者数
2021年度	22	1	1	0	2
2022年度	22	0	1	5	6
2023年度	18	1	3	2	6



大学では社会福祉を学び、就活では高齢者の分野に決めていました。いろいろな法人を見ましたが、福祉楽団は「科学的なケア」を実践していることが魅力的で就職を決めました。今はユニットサブリーダーを任されていて、決断する機会が増えて大変なことも。でも、自分が考えて実践したことで入居者さんが笑顔になったり、生活の質が向上したりすることにやりがいを感じます。もっと経験を積んで、先輩たちのように視野が広く、気づける人になりたいです。

有給休暇等の取得状況

年次有給休暇の取得状況

	付与人数	付与総日数	取得総日数	取得率 (前年度)	〔全国平均〕
フルタイム	234	4,819.0	3,674.5	76.3% (78.7%)	—
パートタイム	164	2,346.5	1,957.5	83.4% (84.4%)	—
法人全体	398	7,165.5	5,632.0	78.6% (80.4%)	[62.1%]

※全国平均は「令和5年 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「年次有給休暇の取得状況」を参照した。

リフレッシュ休暇の取得状況

① 12日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続6か月以上の職員が対象)

	付与人数	付与総数	取得総数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長休日数
介護職員	101	505	490	97.0% (99.0%)	13.3 (13.8)	32
法人全体	202	1,010	975	96.5% (96.7%)	12.4 (12.4)	32

② 7日間以上の連休(毎年4月1日時点で、勤続3年以上の職員が対象)

	付与人数	付与総数	取得総数	取得率 (前年度)	平均連休日数 (前年度)	最長休日数
介護職員	76	228	225	98.7% (100.0%)	7.5 (7.4)	16
法人全体	179	537	516	96.1% (97.2%)	7.5 (7.0)	16

育児休業の取得状況

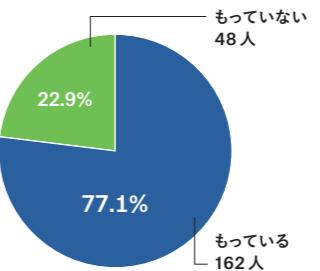
	出産者数(男性は配偶者)	取得者数	取得率 〔全国平均〕
男性	4名	4名	100% 24.2%
女性	9名	9名	100% 86.7%

※全国平均は「令和4年度 就労条件総合調査」(厚生労働省)における「育児・介護休業制度等に関する事項」を参照した。

介護職員の介護系資格保有割合

資格種別

資格種別	保有人数	保有割合
ホームヘルパー2級	33	15.7%
介護職員初任者研修修了	81	38.6%
介護職員実務者研修修了	63	30.0%
介護福祉士	102	48.6%
外国の看護師等の資格	26	12.4%
いずれかの資格保有者数	162	77.1%



▶ 特別養護老人ホームの介護職は無資格であっても勤務できますが、無資格の職員を減らしていくことが課題となっています。新規学卒者は、新入職員研修を受講すると全員が「介護職員初任者研修」の修了資格が取得できるようにプログラムされています。

研修

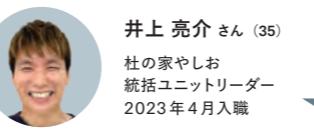
研修費総額

	当年度	前年度	前期比
研修費総額	23,033,359円	16,664,749円	138.2%

▶ ケアの質の向上には、職員の育成は欠かせません。福祉楽団では仕事の実践に必要な具体的なスキル(知識や技術)の研修のほかに、コンピテンシー(行動や思考の特性)の研修を充実させています。職員ひとりひとりの能力を引き出し、広く社会で活躍できる人材を育成します。

主な研修

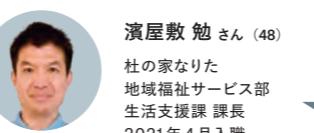
階層別研修	新入職員研修、1年目職員研修、2年目職員研修、3年目職員研修、管理職向け研修、キャリア採用者研修
選抜型研修	リーダーシップ・コミュニケーションスキル研修、FGプレミアム研修、6法人合同「DrawUp!研修」、介護支援専門員合格講座、外国籍職員向け日本語研修、やさしい日本語研修
職種別研修	ケア原論研修、介護職員実務者研修、相談援助職向け事例検討会、契約事務初任者研修
海外研修	アメリカでの多職種連携を学ぶ研修、4法人合同デンマーク視察研修、インド・ケララ州での地域ボランティア養成プログラム研修



アパレル業界で10年ほど働いたあと介護の仕事に興味を持ち、専門学校で介護福祉士を取りました。YouTubeで「杜の家やしお」を知って転職を決め、入職後3ヶ月でリーダーを任せされることに。社歴も経験もないことに悩みましたが「リーダーシップ・コミュニケーションスキル研修」に参加したことで、誰かの真似ではなく自分らしいリーダーになろうと思えました。これからは、各メンバーの強みを引き出し、それらを持ち寄って良いケアができるチームにしていきたいです。

職員能力開発支援金の支給状況

	人数	貸付金合計
制度利用者	63	14,390,479円
うち 当年度新規利用者	16	3,565,422円



子どもデイサービスへの配属になって1年が経ったころ、ご家族との面談の機会が増え、相談援助のスキルが必要だと感じました。社会福祉士の資格を取るため、職員能力開発支援金制度を利用して通信制の大学に入学し、働きながら学ぶことを決心。2024年に無事に資格を取得しました。いまは現場で実践を積みながら、同じ制度を利用して実務者研修を修了するべく挑戦中です。社会人になってからの学びは、さまざまな人の横のつながりができる刺激になります。

賃金の状況

	平均勤続年数 〔全国平均〕	平均年収 〔全国平均〕	平均年齢 〔全国平均〕
介護職員 [#1]	6.4 [6.8]	3,627千円 [3,572千円]	34.0 [47.3]
うち介護福祉士 [#2]	9.3 [9.5]	3,886千円 [3,980千円]	37.1 [45.2]
相談援助職	11.0 —	4,255千円 —	43.9 —
うち社会福祉士 [#2]	8.1 [8.5]	4,311千円 [4,231千円]	37.1 [38.4]
うち介護支援専門員 [#2]	13.7 [12.7]	4,216千円 [4,515千円]	35.3 [48.4]
全職種	7.7 —	3,839千円 —	38.9 —

[#1] 全国平均は「令和4年度 介護労働実態調査」(公益財団法人

環境について

エネルギー・水の使用量

項目	当年度	前年度	前期比
ガスの使用量 (m³)	44,299	46,407	95.5%
電気の使用量 (kWh)	2,525,264	2,615,432	96.6%
水の使用量 (m³)	48,556	48,536	100.0%

おむつ等の購入量

拠点名	(単位: 枚/年)		
	おむつ (1人あたり)	リハビリパンツ (1人あたり)	尿とりパッド (1人あたり)
社の家くりもと	18,078 (217.8)	19,064 (229.7)	90,606 (1091.6)
社の家やしお	40,436 (367.6)	26,780 (243.5)	140,790 (1279.9)
社の家なりた	24,162 (201.4)	35,728 (297.7)	160,848 (1340.4)
法人全体	82,676 (264.1)	81,572 (260.6)	392,244 (1253.2)

医療廃棄物の排出量

拠点名	排出量 (単位: kg/年)
社の家くりもと	15
社の家やしお	41
社の家なりた	12
法人全体	68

利用者について

ベッドの稼働率(特養・ショート・グループホーム)

拠点名	稼働率
社の家くりもと	101.2%
社の家やしお	100.6%
社の家なりた	102.1%
法人全体	101.3%
全国平均(※)	91.8%

▶ 福祉楽団のベッド稼働率は、前期比 0.1% 増となっており、全国平均と比較しても高くなっています。

※「2022年度 特別養護老人ホームの経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構) の定員規模 100 人以上の特別養護老人ホームの利用率を参照した。

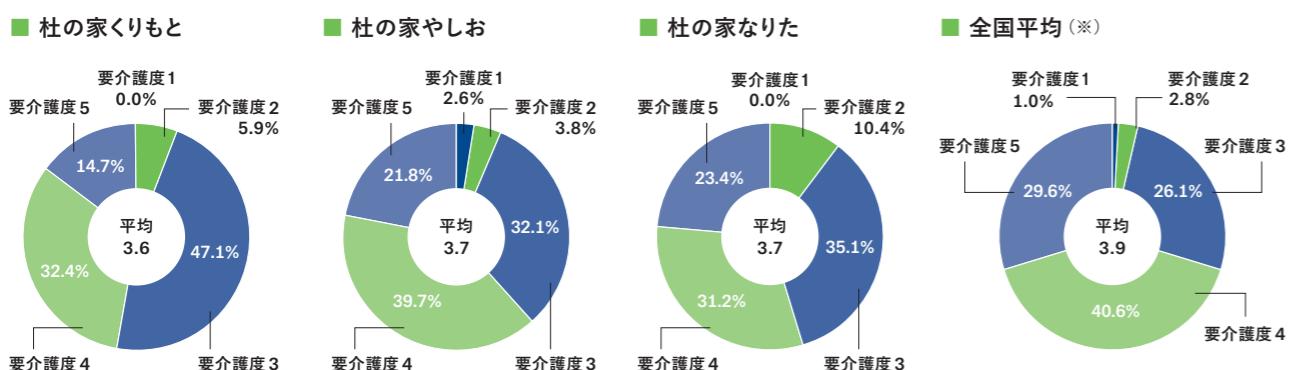
特養の待機者の状況

(単位: 名)

拠点名	待機者数
社の家くりもと	103
社の家やしお	90
社の家なりた	89

2024年3月31日現在

特養の要介護度



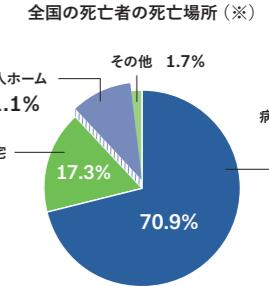
特養の終末期ケアの状況

拠点名	看取り介護 加算算定期数	死亡 退所者数	死亡場所		
			施設	その他	施設の割合
社の家くりもと	21	24	22	2	91.7%
社の家やしお	13	17	13	4	76.5%
社の家なりた	13	26	17	9	65.4%
法人全体	47	67	52	15	77.6%

▶ 死亡場所の統計を見ると、7割以上の方が病院で亡くなります。老人ホームで死亡する人は 11.1% となっています。福祉楽団では、「社の家」で最期を迎える人に対して、最期まで生活が継続できるように支援しており、終末期ケアに積極的に取り組んでいます。2023年度は施設で47名のお看取りをさせていただきました。



木内 雅枝様
「社の家くりもと」に入所してからしばらくは、心苦しくて面会に行きづらかったんです。少しずつ行けるようになり昨年の夏祭りで職員と入居者の皆さんとの楽しそうな姿を見て、この雰囲気だったら大丈夫って思えました。ターミナル期は想像より早く訪れましたが、私も家族も覚悟はできていました。社の家で義母を見取った後、職員さんが葬儀に来てくれた時は驚きました。義母も会いたい人に会えて良かったんじゃないかなと想像しています。



※「2022年度 人口動態調査」(厚生労働省) から「死亡場所別にみた年次別死亡数」を参照した。

デイサービスの利用率

拠点名	高齢者デイ	児童デイ
社の家くりもと	61.1%	—
社の家なりた	78.4%	68.7%
栗源	1.7%	—
法人全体	54.7%	68.7%
全国平均(※)	68.0%	83.9%

※「2022年度 通所介護事業所の経営状況について」「2022年度 児童系障害福祉サービスの経営状況について」(独立行政法人福祉医療機構) を参照した。

訪問介護の月平均のサービス提供時間数

拠点名	提供時間数(時間)
社の家くりもと	304.8
社の家やしお	405.9
社の家なりた	210.7
地域ケアよしかわ	231.0
地域ケアそうか	28.2
法人全体	921.4

医療的ケアが必要な方の人数

拠点名	医療用麻薬等を使用した 疼痛管理が必要な方	在宅酸素	喀痰吸引	胃ろう・腸ろう	経鼻経管栄養	TPN
社の家くりもと	0	1	0	1	0	0
社の家やしお	0	2	5	4	1	0
社の家なりた	0	3	3	3	0	0
法人全体	0	6	8	8	1	0

2024年3月31日現在

介護支援専門員の人数と居宅介護支援の件数

拠点名	介護支援専門員の人数	利用者数(要支援)	利用者数(要介護)
社の家くりもと	4	16	124
社の家やしお	3	3	76
社の家なりた	3	13	104
地域ケアよしかわ	2	3	65
地域ケアそうか	2	0	60
法人全体	14	35	429

2024年3月31日現在

OTHERS そのほかの報告事項

事故の発生状況

■ レベル5以上の事故の発生状況

事故レベル	福祉楽団の事故レベル定義（抜粋）	(単位：件)					
		社の家 ぐりもと	社の家 やしお	社の家 なりた	地域ケア よしかわ	地域ケア そうか	法人全体
5(事故)	・全治14日以上（見込）の治療や入院が必要となった。 ・事故の結果、障害や後遺症が残った。	8	11	13	0	0	32
6(事故)	・事故により死亡となる。（原疾患の自然経過によるものを除く。）	0	0	0	0	0	0
合計		8	11	13	0	0	32

■ レベル5以上の事故の内訳について

内訳	社の家 ぐりもと	社の家 やしお	社の家 なりた	(単位：件)	
				地域ケア よしかわ	地域ケア そうか
骨折	8	8	12	0	0
誤嚥	0	0	0	0	0
行方不明	0	3	1	0	0
その他	0	0	0	0	0

労働災害の状況

拠点名	件数	職種	災害種別	(単位：件)		
				主な被災内容		
社の家 ぐりもと	4	介護職	業務	新型コロナウイルス感染症（職場内感染）		
		介護職	業務	異食を取り出そうとして噛まれ、右手第3指 裂傷部分化膿		
		看護師	業務	箱につまづき転倒し、右前頭部と右頬部を殴打		
		ケアマネ	通勤	車両事故により、胸、膝、背中の打撲		
社の家 やしお	4	介護職	業務	手洗いや手指消毒により、両手、手首の湿疹		
		介護職	業務	入居者の乗った車椅子を持ち上げ、急性腰痛症		
		作業療法士	業務	利用者の入浴対応中に噛まれ、右上腕咬傷		
		調理師	業務	食材を切る際に包丁を滑らせ、左手第3指の第1関節切創		
社の家 なりた	2	調理師	業務	玄関マットにつまづき転倒し、右膝の骨折		
		保育士	通勤	自転車で通勤時に転倒し、両前歯破折		
栗源	1	支援員	業務	濡れている床に滑って転倒し、右前腕、右耳後ろ、腰の打撲		
地域ケア よしかわ	1	介護職	業務	踏み台から足を踏み外して転倒し、左前腕、右膝・腰の打撲		
コーポレート統括部	1	事務員	通勤	自動車で通勤時に別の車両と接触し、頸椎捻挫		
合計	13					

虐待および身体拘束の状況

■ 虐待の状況

► 高齢者虐待防止法に定める「虐待の疑い」があると判断して市町村へ通報した事案はありませんでした。

■ 身体拘束の状況

拠点名	実施実人数（名）	実施延べ日数（日）	内容
社の家 ぐりもと	0	0	
社の家 やしお	1	2	骨折後の利用で、ご家族及びケアマネージャーからの依頼により拘束衣を2日間のみ着用。
社の家 なりた	0	0	

► 当法人では原則として身体拘束は行いません。しかし、以下の「緊急やむを得ない場合」の3要件に該当する場合は身体拘束を行うこともあります。それらについては情報公開をしたうえで、その必要性の検討と、身体拘束の早期解除を目指して援助していきます。

「緊急やむを得ない場合」の3要件

- 切迫性 利用者本人または他の利用者の生命または身体が危険にさらされる可能性が著しく高い場合
- 非代替性 身体拘束以外に代替する介護方法がないこと
- 一時性 身体拘束は一時的なものであること

車両事故の発生状況

(単位：件)

事故レベル	社の家 ぐりもと	社の家 やしお	社の家 なりた	栗源	地域ケア よしかわ	香取CCC	地域ケア そうか	コーポレート 統括部	法人全体
1(インシ)	0	0	0	0	1	0	0	0	1
2(事故)	3	4	8	0	3	0	2	0	20
3(事故)	1	0	3	2	0	2	0	1	9
4(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6(事故)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	4	4	11	2	4	2	2	1	30

感染症等の集団感染状況

► 感染症法に定める1類から5類の感染症（2024年3月31日時点）について施設内での集団感染はありませんでした。

新型コロナウイルス感染症の集団感染は以下のとおりです。

拠点名	通報先	通報日	収束日	感染者数
社の家 ぐりもと	香取保健所	2023年 8月 25日	2023年 9月 30日	41名（入居者等 25名、職員 16名）
社の家 やしお	草加保健所	2023年 8月 7日	2023年 8月 18日	4名（入居者等 3名、職員 1名）
社の家 なりた	印旛保健所	2023年 5月 29日	2023年 6月 4日	14名（入居者等 11名、職員 3名）
社の家 なりた	印旛保健所	2024年 1月 26日	2024年 2月 15日	13名（入居者等 8名、職員 5名）

関連当事者との取引等の内容

■ 関連当事者との取引について 関連当事者との取引内容は、以下のとおりです。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	取引金額
役員又は評議員及びそれらの近親者が議決権の過半数を有している法人	株式会社生活ラボ	千葉県香取市	不動産の賃貸	飯田大輔（100.0%）	職員宿舎（土地・建物）	169,400千円

〈取引条件および取引条件の決定方針等〉 2024年2月15日の理事会において、「特別の利害関係を有している理事」は当取引に関する議案の審議及び決議に参加していません。

■ その他 開示対象となる関連当事者との取引に該当しませんが、以下の取引について公表します。

種類	法人等の名称	所在地	事業の内容	議決権の所有者とその割合	取引の内容	取引金額
役員又は評議員及びそれらの近親者が議決権の過半数を有している法人	株式会社生活ラボ	千葉県香取市	不動産の賃貸	飯田大輔（100.0%）	アパート（職員住宅）の賃料支払い	15,456千円
（関連当事者に該当しませんが、当法人が株式を所有している会社）	ケアアラボ株式会社	東京都渋谷区	ソフトウェアの企画、製作、販売及び運営	当法人（19.0%） 飯田大輔（32.6%）	介護記録システム「ケアアラボ」の利用料支払い	2,920千円
（関連当事者に該当しませんが、当法人が株式を所有している会社）	株式会社香取農業耕社（農地所有適格法人）	千葉県香取市	農作物、林作物の生産・加工・販売	当法人（19.0%） 飯田大輔（29.0%）	農作物・林作物の生産・加工・販売等の業務受託	7,156千円
（関連当事者に該当しませんが、重要性が高いと判断した会社）	株式会社恋する豚研究所	千葉県香取市	豚肉及び食肉加工品の企画、販売	飯田大輔（45.0%）	精肉スライス、精肉加工、惣菜発送作業等の業務受託	307,209千円
					精肉加工品等の購入	6,082千円

監事の監査報告書（臍本）

社会福祉法人 福祉楽団 理事長 飯田 大輔 殿	監査報告書
私たち監事は、2023年4月1日から2024年3月31日までの2023年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。	
1. 監査の方法及びその内容	2. 監査の結果
(1) 事業報告等の監査結果 ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しく	

行政監査の結果

次の事業は改善報告を要する指導項目はありませんでした。

特別養老人ホーム社の家なりた(介護老人福祉施設／2023年12月13日)、ショートステイ社の家なりた(短期入所生活介護／2023年12月13日)、居宅介護支援センター社の家なりた(居宅介護支援／2024年2月27日)、訪問介護ステーション社の家やしお(訪問介護／2024年2月14日)、訪問介護ステーション社の家やしお(訪問型サービス／2023年7月26日)、オオバタケ保育所(認可外保育施設／2023年10月27日)、イワベの保育所(認可外保育施設／2023年10月27日)、ツルガソネ保育所(認可外保育施設／2023年7月18日)、シタカタ保育所(認可外保育施設／2023年8月31日)、就労継続支援A型事業所栗源協働支援センター(就労継続支援A型／2024年2月16日)

実施日	2024年2月16日(金)
根拠法令	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第11条
対象種別	就労継続支援(B型)
実施者	千葉県
実施場所	栗源第一薪炭供給所(香取市沢2452番1)
監査結果	以下のとおり

● 改善を要する事項 [人員に関する基準]

サービス管理責任者については、研修制度の見直しにより令和元年度以降においては、基礎研修終了後、3年間は実践研修を受講していくが、サービス管理責任者として勤務することができるが、上記3年間に実践研修を終了することが、サービス管理責任者として引き続き勤務するための要件とされている。しかしながら、当該事業所においては、令和2年10月12日に基礎研修終了後、3年を経過した令和5年10月12日以降も、サービス管理責任者として勤務させていたことが判明した。については、早急に他のサービス管理責任者の資格を有する者を配置すること。

▶ 対応結果

1月31日付でサービス管理責任者の要件を満たす職員(石倉卓也)を配置、県へ変更届を行った。

● 改善を要する事項 [運営に関する基準]

「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービスの事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例」(平成24年条例第88号)第190条により準用される第60条に基づき、サービス管理責任者は就労継続支援B型計画(以下、「B型計画」という。)の作成に関する業務を担当する旨、規定されているところ、当該事業所においては、サービス管理責任者が、アセスメント、B型計画作成に係るサービス担当者会議、利用者に対するB型計画の説明やモニタリングの業務を担当していたことが確認されたものの、B型計画の原案の作成者が、サービス管理責任者ではない職業訓練指導員又は管理者となっていたことが確認された。今後は、サービス管理責任者が、B型計画を作成すること。

▶ 対応結果

2024年2月16日以降、作成する計画書について、サービス管理責任者が最終確認を行う。

● 改善を要する事項 [請求に関する基準]

1 サービス管理責任者が不在だったことについては、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準」(平成18年9月29日厚生労働省告示第523号、以下、「障害福祉サービス費用算定基準告示」という。)の別表「第14 就労継続支援B型」の注7の(1)、「厚生労働大臣が定める利用者の数の基準、従業員の員数の基準及び営業時間の時間数並びに所定単位数に乘じる割合」(平成18年9月29日厚生労働省告示第550号)の「九 介護給付単位数表第14の1の就労継続支援B型サービス費の注7の(1)の厚生労働大臣が定める利用者の数の基準及び従業員の員数の基準並びに所定単位数に乘じる割合」の口及び「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス等及び基準該当障害福祉サービスに要する費用の額の算定に関する基準等の制定に伴う実施上の留意事項(平成18年10月31日障発1031001厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部長通知、以下、「障害福祉サービス費用算定基準告示」という。)の第二の「1 通則」の「(8)人員希有所に該当する場合の所定単位数の算定について」の「②算定される単位数」の「(2)サービス管理責任者の人員欠如について」に従い、減算が適用される月から3月末までの月(欠如となった月の翌々月)から欠如が解消されるに至った月については、所定単位数の100分の70、減算が適用される月から欠如が解消されないまま連続して5月以上に至った月から欠如が解消されるに至った月については所定単位数の100分の50の減算を行うこと。なお、当該所定単位数は、各種加算がなされる前の単位数とし、各種加算を含めた単位数の合計数について減算するものでないことに留意すること。

● 改善を要する事項 [助成関連]

定員(従業員枠、地域枠)を保育所運営規程に設定していないので、早急に設定すること。

▶ 対応結果

施設の保育の特徴を打ち出し利用児童の増員を図るため、施設周辺の山林を開拓し、子どもたちの遊び場を作ることを決めました。2月下旬に山林の所有者へ土地の貸与の相談をしています。

● 改善を要する事項 [助成関連]

定員(従業員枠、地域枠)を保育所運営規程に設定していないので、早急に設定すること。

▶ 対応結果

運営規程(第5条の2)を以下のように改定します。

(改定前) (1) 従業員枠 法人に雇用されている者の監護する利用乳幼児。

(改定後) (1) 従業員枠 法人に雇用されている者の監護する利用乳幼児。

利用定員の50%以上とする。

● 改善を要する事項 [助成関連]

一時預かり事業については、余裕活用型を選択しているが、実績数と報告数が違っているので、改めること。

▶ 対応結果

実績数と報告数が違った原因を確認したところ、実績データを集計するファイル(Excel)上の閑数が間違っていました。2024年1月分より修正しています。

● 改善を要する事項 [保育関連]

実施した保育の記録(保育日誌等)が、作成されていないので、整備すること。

▶ 対応結果

2024年2月1日より、保育日誌に、活動内容と評価・反省の欄を加え記録しています。

● 改善を要する事項 [保育関連]

保育サービスの利用に関して、母親の就労証明書等のない児童が1名いるので、就労証明書等又は支給認定証を提出させること。

▶ 対応結果

当該母親に現況を確認し、就労していないため市役所へ支給認定証の申請を依頼しました。2024年3月末までに発行される予定です。

実施日 2023年12月5日(火)

根拠法令 介護保険法第24条

対象種別 介護老人福祉施設

実施者 千葉県

実施場所 特別養老人ホーム社の家くりもと(香取市岩部869番60)

監査結果 以下のとおり

● 改善を要する事項 [施設の構造設備]

平面図の特別養老人ホームの利用者を受け入れるための居室と実際の特別養老人ホームの利用者が利用している居室が一部相違しているため、平面図を修正の上、県高齢者福祉課に変更を届け出ること。

▶ 対応結果

施設の改修によって変更があるものについて、2024年3月末までに変更を届け出ます。

実施日 2023年11月22日(水)

根拠法令 企業主導型保育事業指導・監査等基準第3

対象種別 企業主導型保育所

実施者 公益財団法人児童育成協会

実施場所 ツルガソネ保育所(八潮市鶴ヶ曽根606番1)

監査結果 以下のとおり

● 改善を要する事項 [保育関連]

実施した保育の記録(保育日誌等)が、作成されていないので、整備すること。

▶ 対応結果

プール遊び時の日誌に抜けがありましたので、改善していきます。また、当日の申し送りはオンライン上で記録を残しております。記録する内容について、精查していきます。

● 改善を要する事項 [保育関連]

職員及び保護者に対し、安全計画に基づく取組の内容等について周知されていないので、周知すること。

▶ 対応結果

保育所内に掲示して周知します。

実施日 2023年10月30日(月)

根拠法令 介護保険法第23条

対象種別 居宅介護支援

実施者 吉川市

実施場所 福祉楽団 地域ケアよしかわ(吉川市吉川団地1街区7号棟107)

監査結果 以下のとおり

● 改善を要する事項 [人員基準] ○管理者

令和4年10月から令和4年11月及び令和5年4月以降の期間について、管理者が主任介護支援専門員の資格を有しておらず、また管理者確保のための計画書が提出されていませんでした(計画書については令和5年9月に提出済みのため改めて提出の必要はございません)。

▶ 対応結果

管理者確保のための計画書は令和5年9月29日に提出済みです。引き続き主任介護支援専門員の募集を行います。

実施日 2023年10月27日(金)

根拠法令 児童福祉法第59条第1項

対象種別 認可外保育施設

実施者 千葉県

実施場所 イワベの保育所(香取市岩部869番48)

監査結果 以下のとおり

● 改善を要する事項 [非常災害に対する計画の策定・避難消火等の訓練]

消火訓練を実施していない月が複数確認された。今後は、毎月実施すること。

▶ 対応結果

毎月実施するよう計画を見直し、2023年11月より実施します。

● 改善を要する事項 [8安全確保]

1 不審者の立ち入り防止の観点から、窓を施錠すること。
2 施設内の砂場が駐車場に隣接しているので、事故防止の観点から、防護柵及び注意表示等の設置等により適切な安全管理を図ること。

▶ 対応結果

公道に面する側の出入り口を施錠するようにし、職員の出入りは、反対側の通用口を使用するようにしています。砂場と駐車場の境にコーンを設置し、安全管理を図っています。

● 改善を要する事項

[3サービスの利用予定者から申し込みがあった場合の契約内容等の説明]
当該施設において、同一設置者が近隣に設置した別の認可外保育施設の契約乳幼児を保育することが判明したが、当該施設とサービス利用者との契約書類が確認できなかった。については、当該乳幼児について、当該サービス利用者との「重要事項説明書」(同意書)及び「入所契約書」を整備すること。

▶ 対応結果

別の認可外保育施設の契約乳幼児6名について、2024年1月1日付けで契約を取り交わしました。

実施日 2023年10月11日(水)

根拠法令 企業主導型保育事業指導・監査等基準第3

対象種別 企業主導型保育所

実施者 公益財団法人児童育成協会

実施場所 シタカタ保育所(成田市下方686番1)

監査結果 以下のとおり

● 改善を要する事項 [保育関連]

職員の定期健康診断については、職員1名が未受診であるが、労働安全衛生法により年1回の実施が義務付けられているので、早急に受診させること。

▶ 対応結果

中途採用などすべての職員が、入職1年内に健康診断を必ず受けられるよう、2023年10月19日の理事会において規程の一部を改正しました。

PLAN

2024年度 事業計画

2024.04.01 - 2025.03.31



MEDIUM-TERM MANAGEMENT PLAN

中期経営計画（2020-2024年度）

自立的で創造的な人々の交わりと遊びごころのある共生社会を実現するための事業方針

誰もがありのままに、その人らしく、地域で暮らすためのアクション

子ども、高齢者、障害のある人など、だれもが、ありのままに、その人らしく地域で暮らすことができる地域共生社会を実現するため、創造的な福祉実践を展開していきます。特別養護老人ホーム等の福祉施設においても、家族や地域住民と新しいかたちでのつながりをつくります。福祉現場からの臨床研究や情報発信を積極的に行い、福祉実践に対する市民の理解を深める取り組みを展開します。産業化の進展とともに人々の生活や福祉の在り様はますます複雑化していくと考えられます。長期的な視点に立った支援のあり方や、生命の危機を見逃さないための仕組みを整えます。また、福祉事業者だけで地域の諸課題を解決することは困難です。さまざまな産業、NPO、行政、市民との協働を一層進めて、楽しく暮らせる地域社会の実現を目指します。

1

- 科学的根拠に基づくケア実践と、福祉臨床を活用したケア研究の推進
- 特別養護老人ホーム等の中核事業のケア実践力向上と情報発信
- すべての拠点で、分野を横断した「伴走型」の相談支援体制の確立
- ほかの産業やNPO、行政と協働した地域を楽しくするための事業実施
- 社会情勢の変化に伴う「福祉施設」の新しいあり方の検討と提案

多様性を前提とした自ら学び、創造力を引き出すチームマネジメント

2

職員もひとりひとり多様であるという前提にたち、職員が自立し、創造的に学び、向上していけるような機会を保障します。教育や研修という受動的かつ名詞としての人材育成ではなく、自ら学び、意欲が湧き、創造力が引き出されるようなチーム、組織のあり方を検討し、具体的に行動します。職場に少しの楽しさと、面白みをつくることを意識し、職員ひとりひとりの創意工夫やアイデアを大切にします。学びの機会創出にはICTによるツールの開発や、ほかの福祉事業者と連携するなど、より広い視野をもって実施していきます。外国籍職員の割合も高くなるなかで、そうした組織の環境に合わせた情報提供のあり方を再検討し、質の高いチームビルディングが実現されるよう工夫していきます。

- 職員が自ら気づき、学ぶ機会を保障し、支援します。
- 人事制度には「楽しさ」や「面白さ」が感じられるよう改善します。
- 「やさしい日本語」による情報発信の仕組みを整えます。
- 多様性がリアルに理解できるような機会を継続的につくります。
- 職員ひとりひとりの能力を信頼し、積極的な起用を行います。

安定した経営と、持続可能な経営基盤の確立

3

持続的な成長のためには、安定した経営基盤が必要になります。財務状況について明確な目標を定め、適切なモニタリングを実施し、即時的な業務改善につなげます。不安定要素の高い就労支援事業等には新規の投資を凍結し、既存施設の修繕や改修について計画的に進めています。バックオフィスの業務効率化のため、ほかの法人との連携や、すべてのコストについて見直し、最適化を図るとともに、ICTの活用やケアの質の向上、職員の業務負担軽減のための投資は積極的に行います。物品の調達にあたっては、自然環境への負荷や社会的公正について適正に評価し、調達基準を明確にします。自然災害や感染症のパンデミックなどの備えのため一定のキャッシュポジションを確保します。また、災害対策計画の見直しをすすめるとともに、備蓄品や非常時の体制について段階的に整備をすすめます。福祉楽団の事業について発信し、応援したい、寄附したいと思ってくれる人を募り、実践についてきちんとフィードバックし、寄附したことが楽しく感じられる仕組み、福祉楽団「サポートーズ」を充実させていきます。

- 財務状況についての目標値の設定と達成のためのモニタリングと改善
経常増減差額比率は、毎年3%以上を確保する
 $EBITDA [(有利子負債 - 現金) \div (経常利益 + 減価償却)]$ は、毎年12倍以内とする
2024年3月末時点でのキャッシュポジションは3億円とする
- 就労支援事業など収入の不安定要素が高い事業への新規投資の凍結
- ICTの活用による合理化と業務改善
- 建物の修繕の計画的な実施
- 自然環境と社会的公正に配慮した調達基準の策定と実施
- 災害や非常時に備えた計画の見直しと備蓄等の段階的整備
- 福祉楽団「サポートーズ」の拡大
2021年3月120名 2022年3月140名 2023年3月160名 2024年3月180名

I | ケア実践の質の向上

1 | 薬の基礎知識の勉強会

かかりつけ薬局と連携し、入居者に処方されている薬の基本的な知識を学ぶ機会をつくります。また服薬後の観察のポイントなどを学びます。

2 | 個別支援計画のアセスメント、立案、実践の適正化

ケア原論のミニ勉強会を各施設で開催します。(月1回の開催)
アセスメントとケアプランの立案の意義や方法について、学習の機会をつくります。(月1回の開催)

3 | 緊急時の対処方法

誤嚥への対処、背部叩打法やハイムリック法について、人体モデルを使用して実践的な訓練を実施します。心肺停止があったときの心肺蘇生やAEDの操作方法について、訓練機会をつくります。

緊急時の対処方法を理解し、スケール（指標）で伝達できるように訓練を行います。

4 | 障害のある人のBMI、栄養評価、食事を整える支援

障害のある人に対して、食事をどのように整えたら良いかをわかりやすい構造で伝える方法を考えます。身長と体重の測定を行いBMIの変化を記録し、体格に偏りがある場合は、食事の整え方について具体的にアプローチできるような方法をつくります。

5 | 入所系施設への第三者評価

第三者評価の受審義務がない施設においても、3年に1回は第三者評価を受けることとし、内部規定を作成します。2024年度は特別養護老人ホーム1か所で受審します。

II | ソーシャルワーカー実践の質の向上

1 | 断らない相談支援

すべての事業所において、「断らない相談支援」「包括的な相談」を基本方針とします。制度や提供するサービスにとらわれず、相談者が抱えるさまざまな困難に対して、ワンストップでかかわっていく基本姿勢を養い、そのためのスキルの向上を図ります。

2 | 生活を構造的に把握する研修

相談員や介護支援専門員を対象に、相談者の生活を構造化し、適切なアセスメントの方法を学ぶ研修を行います。

3 | 困難事例の共有

法人全体でのケース検討会を開催し、困難事例へのアプローチやナレッジの共有を行います。

4 | 当事者の生活力向上のための研修

生きづらさを抱えた当事者と支援者がともに学ぶ機会として、社会福祉法人南高愛隣会の協力を得て「暮らしのルールブック」と「からだと心のマナー・ブック」勉強会を開催します。

5 | 相談支援職のトライアルジョブの実施

相談支援に関わる職員が、多様なニーズを理解し支援の幅を広げられるよう、他拠点でのトライアルジョブを実施します。

6 | 「検査機関への対応ポリシー」「治療拒否への対応ガイドライン」の整備と研修

検査機関に対する個人情報の取り扱いや、さまざまな困難や事情を抱えた人が「治療拒否」をした場合に、ソーシャルワーカーが判断の軸となるような指針を整備します。

職員が方針や指針を理解し、実践で活用できるよう、教育研修を行います。

7 | 制度改正への対応

介護保険制度・障害福祉制度の改正に適切に対応します。

III | 介護職員の待遇改善

介護報酬等の改定に伴う増収は基本報酬の部分も含めて、すべて介護職員の待遇改善のために使うことを基本方針とします。基本給、管理職手当、夜勤手当、住宅手当などについて、すべて見直しを行い、介護福祉士の有資格者やユニットリーダーなど、介護現場の核となる人材の待遇改善を大胆に行います。

IV | 人材の定着と育成

1 | 2年目、3年目研修の内容の充実

研修内容の見直しと充実を図ります。

2 | 「チューター」と「メンター」を機能させます

新入職員に対して、仕事の技術的な支援をする「チューター」と、生活や精神面を含めた支援を行う「メンター」を機能させ、キャリアや生活の悩みに丁寧に寄り添います。

社の家づくりもと事業部



上野 興治
事業部長

01

ケアプランに添ったケアの実践力を高めます

02

地域活動に参画し、地域の人と顔の見える関係を築きます

03

職員同士の関係の質を高め、チームワークの向上をはかります

- アセスメントやプランの見直しを、担当職員とスーパーバイザーと一緒に行えるよう年間の計画を立てて実施します。

- 毎月のモニタリングは、本人と家族の意向を確認し、ケアプランに反映させます。

- 介護職員全員にOJTを実施する体制を整え、OFF-JTを毎月2回以上実施します。OJTでの技術向上とOFF-JTでの知識向上を両立させることでケアの質の向上をはかります。

- 毎月15日と25日に開催する「ごはんの日」は、地域の公民館などで実施し、職員や入居者が地域に出ていくようにします。

- 災害対策訓練を施設近隣の会社と合同で実施し、災害発生時に協力し合える関係を築きます。

- 「イワベの保育所」周辺の森のなかに遊び場をつくり、子どもたちが自然を体験できるようにします。

- 毎月2回、新入職員と既存職員が、一緒に夕飯をつくる食べる「夕ごはんの日」を開催し、相談しやすい関係性を築きます。

- 各部署のミーティングには必ずマネージャーが出席し、参加者全員が意見を出し合い、自分たちで考えられるようファシリテートします。

- 部署をまたいだ委員会を編成し、その活動を通じて職員の間に斜めの関係性をつくります。

社の家やしお事業部



石間 太朗
事業部長

01

入居者の日々の状態に合わせた介護過程を展開します

02

施設内外で交流の機会をつくり、つながりを構築します

03

職員が成長を実感し、やりがいを持って働ける環境をつくります

- 看取りの勉強会を3か月に一度開催し、終末期のこころとからだの仕組みを理解して終末期ケアにあたります。

- 要介護度の見直し会議を毎月行ない、状態の変化に合わせたケアプランを常に作成できるよう取り組みます。

- 多職種での褥瘡予防のミーティングを毎月開催し、新規の褥瘡ゼロを目指します。

- 「ごはんの日」を再開し、地域の人と入居者が交流する機会をつくります。

- 「だれでも食堂」の開催に合わせて勉強会を開催し、地域の人と職員が学ぶ機会をつくります。

- 施設の外に田畠を借り、そこを拠点に保育所の子どもや入居者、地域の人が交流できる機会を設けます。

社の家なりた事業部



安部 明子
事業部長

職員が学びを深める機会を設けながら、ケアの質を向上させ、入居者や利用者の暮らしが良くなるよう取り組んでいきます。高齢者、障害のある人、子どもなど、さまざまな人が交流でき、過ごしやすい場所となるよう尽力します。また、地域の人とかかわる機会を増やし、利用者が地域とつながる機会を創出するとともに、地域の活性化を目指します。

01

根拠に基づいたケアを実践し、利用者の生活の質を向上させます

- 介護原論について学ぶ機会を年3回設け、「ケアのものさし」に基づいたケアを提供します。
- すべての介護職員に介護過程について学ぶ機会を設け、ケアプランを作成できるようにします。
- ご家族と面談し、生活歴や人生歴をヒアリングしながら、生活の幅を広げます。

02

地域住民とかかわる機会を増やし、地域とのつながりを深めます

- 「ごはんの日」の開催回数を月2回に増やし、地域住民と交流する機会を増やします。
- 防災訓練を地域住民とともに実施し、福祉避難所としての役割を周知させます。
- 日本語を母語としない職員が日本語を学ぶ機会を増やすとともに、日本語を母語とする職員がやさしい日本語の使い方を学ぶ機会を設けます。
- 地域に向けた勉強会を開催し、地域の人が介護や福祉について理解を深める機会を創出します。

03

一人ひとりがやりがいや成長を感じながら働ける環境を整えます

- チューター・メンター制度を活用し、複数の職員で新入職員をサポートします。
- 個別の研修計画を立て、目指したい姿を明確にしながら、職員の成長につなげます。
- 多様なものの見方、考え方を養えるよう、他部署・他事業所でのトライアルジョブを年3回実施します。

地域ケアそとか事業部



中村 麻里
事業部長

草加市に事業所を構えて2年目になります。高齢者や障害のある人、子どもの支援のほか、分野・属性を問わない何でも相談所として地域の期待に応えられるよう、職員のアセスメント力の向上など人材育成に力を入れていきます。また、無駄を省き、整頓された職場環境の維持や仕事の見える化に取り組むことで、誰もが働きやすい職場をつくります。

01

相談者の困りごとを受け止め、より良く暮らせるよう伴走します

- ミーティングを週1回行い、アセスメントの見直しや制度利用にとらわれない支援の方針を検討します。
- みんなの食堂「おせんべ」の定期開催を継続します。また、生活困窮を抱える人のニーズに応えられるよう、フードドライブ活動にも積極的に取り組みます。
- 地域の人と連携して事業所を有効活用することで、多様な人がともに過ごせる居場所をつくります。

02

仕事を構造化しサービスの向上と業務の効率化を目指します

- 5S（整理、整頓、掃除、清潔、しつけ）を徹底し、誰もが働きやすい職場環境を実現します。
- スケジュールやタスク、経営状況を見える化し、時間や数字を意識して行動することで業務の効率化を図ります。
- 日常業務のマニュアル化をすすめ、よい取り組みは共有し、業務の抜け漏れを防ぎます。
- 訪問介護ステーションの職員を増員し、月340時間のケアの提供を目指します。

03

職員の強みを活かし、地域で活躍できる人材を育成します

- 相談者の持てる力や生活全体を捉える視点を養うため、すべての職員にアセスメントについて学ぶ機会を設けます。
- 職員が地域向けに勉強会を開催するなど、知識をアウトプットする機会を持つことで専門性を高めます。
- ほかの事業所と連携してケースの検討会や研修を開催し、お互いの良い実践を共有することで、支援の質の向上につなげます。

地域ケアよしかわ事業部



松本 亜季
事業部長

「地域ケアよしかわ」は開設から10年を迎えました。これからも地域の人たちに頼っていただけの福祉拠点となるため、職員全員がケアの質をお互いに高め合える事業所を目指します。

01

職員ひとりひとりが主体的にケアを考え実践します

- 毎月の全体研修のほか、職員の個別ニーズに合わせた研修の機会を年2回以上確保します。
- インテークとアセスメントの研修を開催し、真のニーズを見過ごさないケアの思考過程を身に付けています。
- 職員全員が客觀性と主体性を意識して情報発信することで、正確な情報に基づいたケアの展開を議論できるようにします。

02

地域の身近な相談所として地域とのつながりを全員でつくります

- 職員全員が地域の人と積極的にコミュニケーションをとることで、相談を受け付けられる体制を広げます。
- 寄附して参加、食べて参加、つくって参加など、世代や属性を問わず、だれでもまるごと「参加」できる場所として、地域での活躍の場を担います。

03

経営の安定を図り、小規模福祉拠点のモデルを目指します

- 訪問介護員を2名以上採用し、サービス提供時間を50時間増やします。
- 重度者の受け入れを積極的に行い、質の高いケアサービス体制を確保することで、「訪問介護特定事業所加算I」の算定継続を目指します。
- 主任ケアマネージャーを1名増員することで、上位加算の算定を目指します。

香取 CCC 事業部



高木 亞希子
事業部長

相談支援においても、まず「生活を整える」視点が何より重要です。住まいや食事、睡眠や身体の清潔が整ってはじめて、仕事や学業、自身の健康や他者との関係に向き合うことができるを考えます。「香取 CCC」は困難を抱え孤立した人の暮らしに伴走し続けながら、少数の声がとりこぼされることなく社会に届くようアクションしていきます。

01

地域の関係機関と協働し、断らない相談支援を行います

- 制度の狭間にある困難は、多機関とチームアプローチを行います。少数の声を地域や社会全体で捉え、考えるアクションにつなげます。
- 支援レベルをフローチャート化し、自らSOSが出せない人を取りこぼさない仕組みづくりを行います。
- OJTや週1回のミーティングでアセスメントのフィードバックを行います。個別支援計画は初回面談と同時に策定し、支援方針をもって関係機関と協働します。

02

さまざまな人が排除されない地域づくりに取り組みます

- 社会経験が少ない人や、働きづらさを抱えた人に向けて、「くらし」と「からだ」について学ぶプログラムを月1回以上開催します。くらしの中に学びの機会や役割を創出します。
- 相談につながりにくい若年層とつながるため、カード型チラシを学校や子ども・若者の手に届く場所で配布します。
- 住宅確保要配慮者等の居住支援について、地域関係者との協議の場を年2回以上設けます。

03

職員はチームの目的や使命を理解し、自律的に行動します

- 業務を構造化し、環境や思考の整理整頓に取り組みます。
- 週1回のミーティングで事業計画の進捗管理を行い、チームの目的や使命を確認し合います。地域や関係機関に対してチームの目的や使命を伝える機会を、各職員に年1回以上設けます。
- 「検索機関への情報提供に関する対応ポリシー」を適切に運用できるよう、法人全体で年1回以上研修を実施します。

栗源事業部



山根 正敬
事業部長

まもなく開設から12年になり、職員と利用者を合わせて100人規模の事業部になりました。2023年8月には「はらくデイ・1K」を開設し、新たな分野への挑戦が始まりました。通年の黒字化は達成できませんでしたが、生活力向上のための勉強会や新たなイベントなど、自分たちだからこそできることを考え、創意工夫し、実行していきます。

01

より多くの人に選ばれるブランド、サービスを目指します

02

当事者の「くらし」を考え、支援力の向上に努めます

03

整理整頓と作業の構造化を進め、労災ゼロを目指します

- 「恋する豚研究所」の肉を月300頭販売できるよう、首都圏以外にも営業を行います。また、新たなお客さまを獲得できるよう、試食販売を月2回行います。
- 通年で事業部全体での黒字化を達成するため、就労継続支援B型の稼働率について65%（延べ人数4,705人）を目指します。
- お客様の満足度を高めるために、木工体験などの新しい企画を増やし、2か月に1回イベントを開催します。

- 医療情報や生活状況を定量的に把握できるように、アセスメントシートや薬の情報、生命チャートの更新を年1回以上行います。
- 当事者を対象に、からだ・性のことやくらしのルールを学ぶ研修を行います。講師を担える職員を3名養成します。
- ふだんから健康管理を意識できるよう、毎月の体重測定の実施と、日常会話のなかでの食事、栄養に関する働きかけを行います。

- 誰もが作業しやすいように、必要なものが決められた場所に保管できるように工夫や改善を行います。
- 機械の取扱いなど危険が伴う作業や、作成日が古いものを優先に、マニュアルの更新を行うとともに、有効活用するための仕組みを再考します。
- 工場や農林作業において、月1回の安全講習を行い、作業にかかる人の意識の向上を図ります。

コーポレート統括部



岩田 直樹
コーポレート統括部長

私たちは、法人の成長を牽引する“攻め”的なバックオフィスを目指します。各事業部の現状を定量的に把握し、共有することで法人内の情報格差を最小化していきます。また、忙しさを言い訳にせず、改善活動を進めるためにはどうできるかを議論していきます。自分たちの業務整理や効率化を図りながら、日々の「+1」のアクションにつなげていきます。

01

職員ひとりひとりが持てる力を発揮できる組織を推進します

02

持続可能な経営管理体制をつくります

03

業務改善が促進されるバックオフィス組織を目指します

実糲パークサイド開設準備室



藤堂 智典
室長

実糲パークサイドは、子ども、高齢者、障害のある人など行政の福祉分野を横断し、地域に開いた福祉拠点を目指しています。当事業所は、あらゆる困難を抱えた人と共に生き、共に育ちあう、“福祉”を超えた「生活の場」です。当事者が、地域や多くの人たちとの「つながり」を通して、自らの生命・生活の幅を広げられるような取り組みに挑戦していきます。

01

適切に準備を進め、円滑な開設と運営を目指します

02

志のある人材を採用し、育成とチーム構築を図ります

03

地域・社会と協働していく関係性と生活基盤を築きます

- 行政や関係機関と綿密に協議を重ね、必要な届出や申請等を遅滞なく行えるようにしていきます。
- 地域や社会のニーズを的確に把握し、入所者や利用者の確保に努めつつ、安定的な運営のため、段階的な入所計画や支援計画を立てます。
- 年度末には、認知症対応型共同生活介護は満床に、看護小規模多機能型居宅介護は定員の3分の2の登録ができるように地域に働きかけます。

- 分野にとらわれず、「生活」の視点でケアや支援ができる職員を50名育成します。
- 法人全体のケアの質向上に資することができるよう、多職種、多世代、多様な人材を採用していきます。
- 開設前・開設後の体系的な研修プログラムを実施し、学び合いながらチームビルディングをしていきます。

- 「OUR KIDS基金」やクラウドファンディング、地域イベントなどを通じて、多くの市民や企業、当事者が関与できるような仕組みを導入し、継続的な関係性を構築していきます。
- 地域に開く当施設の特徴を存分に生かせるよう広報し、誰もが立ち寄れるような雰囲気を醸成します。来所が促進されるような企画を月2回実施していきます。

2024年度予算（資金収支計算書）（自）2024年4月1日（至）2025年3月31日

（単位：件）

勘定科目		予算額
事業活動による収支	収入	支出
介護保険事業収入 就労支援事業収入 障害福祉サービス等事業収入 公益事業収入 経常経費寄附金収入 受取利息配当金収入 その他の収入	2,055,457,290 492,926,952 188,950,192 52,788,596 870,000 9,377 103,776,706	
事業活動収入計(1)	2,894,779,113	
人件費支出 事業費支出 事務費支出 就労支援事業支出 支払利息支出 その他の支出	1,520,531,977 317,270,577 227,432,728 477,165,500 27,155,925 7,718,068	
事業活動支出計(2)	2,577,274,775	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	317,504,338	
その他の活動による収支	収入	支出
長期運営資金借入金元金償還支出 長期貸付金支出 積立資産支出 その他の活動支出(8)	54,481,000 4,000,000 100,000,000 158,481,000	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	▲158,481,000	
予備費支出(10)	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	71,532,514	
前期末支払資金残高(12)	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)	71,532,514	

ABOUT

FACILITY INFORMATION

施設概要

杜の家くりもと



所在地：〒287-0102
千葉県香取市岩部869番60
TEL：0478-70-5665
FAX：0478-70-5666
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／認知症グループホーム／共生型デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／企業主導型保育事業／配食サービス／福祉有償運送／学習支援事業
開設日：2003年3月1日



所在地：〒286-0005
千葉県成田市下方686番1
TEL：0476-20-7575
FAX：0476-20-7878
実施事業：特別養護老人ホーム／共生型ショートステイ／デイサービス／訪問介護・居宅介護／居宅介護支援・相談支援／放課後等デイサービス／就労継続支援B型／企業主導型保育事業
開設日：2016年6月1日

地域ケアそうか



所在地：〒342-0054
埼玉県吉川市吉川団地
1街区7号棟107
TEL：048-984-2332
FAX：048-984-2333
実施事業：訪問介護・居宅介護／居宅
介護支援・相談支援／みんなの食堂
開設日：2014年4月1日



所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢 2459番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援A型／相談支援／生活困窮者認定就労訓練
開設日：2012年9月1日



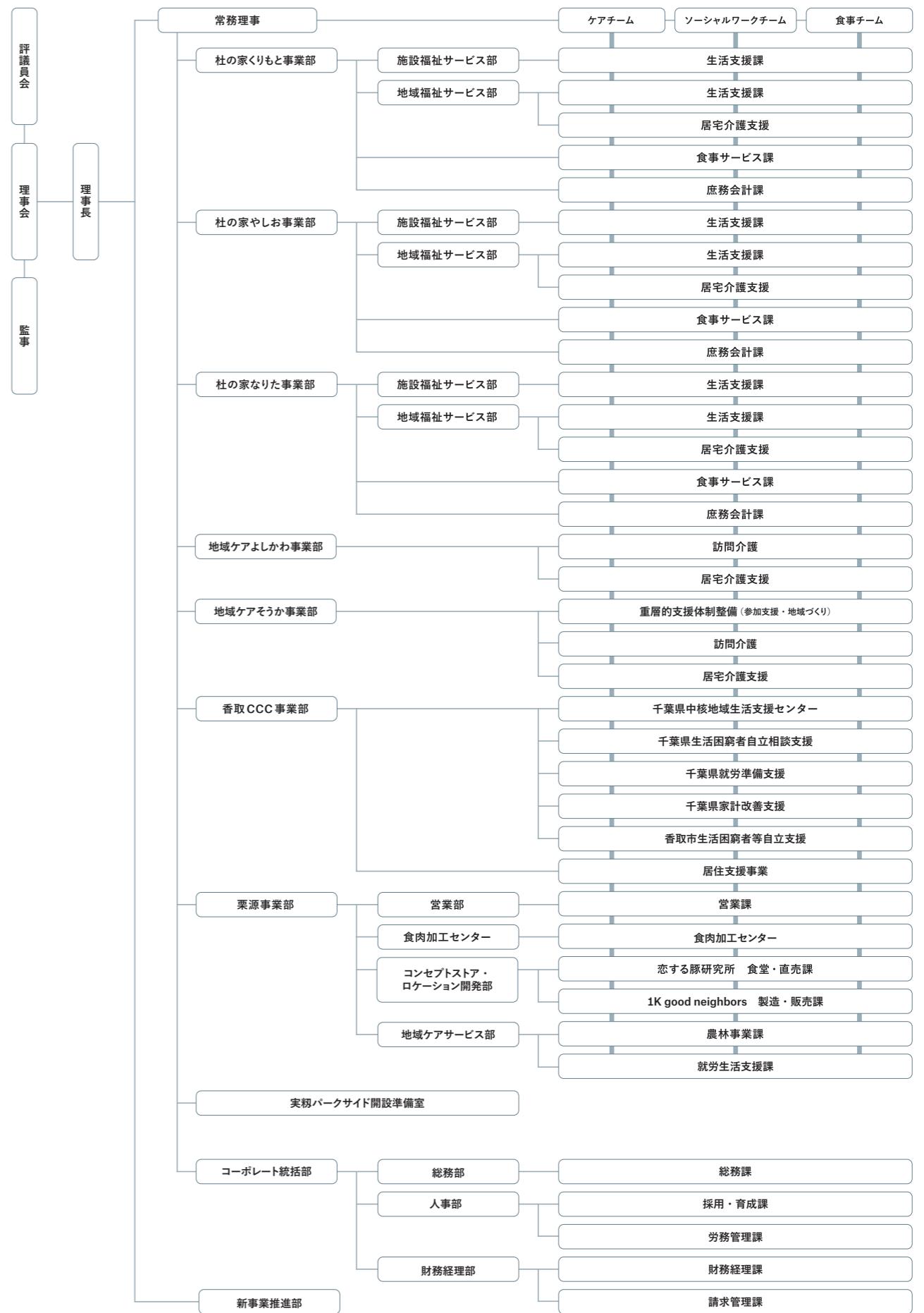
所在地：〒287-0105
千葉県香取市沢2452番1
TEL：0478-70-5234
FAX：0478-70-5235
実施事業：就労継続支援B型／認知症
デイサービス
開設日：2018年3月1日

福祉楽団について

ABOUT FUKUSHI GAKUDAN

ORGANIZATION 組織図

2024年7月1日現在



2001.12	2009.8	2016.4	2018.11
▶ 12月7日、「社会福祉法人豊和会」として設立（千葉県認可）。職員数34名。写真は「杜の家くりもと」の竣工式（2003年2月）で設計者を表彰する在田正則理事長と、在田恵美子施設長（いずれも当時）	▶ お食事配達サービス「杜ごはん」（千葉県香取市）を開始。翌年4月、お出かけ支援サービス「杜バス」（千葉県香取市）を開始	▶ 職員住宅「ピーカブー」（千葉県成田市）設置 ▶ 「杜の家なりた」（千葉県成田市）開設	▶ 法人本部事務所を千葉県千葉市美浜区に移転
2012.9	2016.6	2019.9-10	
▶ 就労継続支援A型事業所「栗源協働支援センター」（千葉県香取市）開設。同月、建物内に「恋する豚研究所」のフラッグシップストア「食堂・お店」を出店	▶ 「杜の家なりた」（千葉県成田市）開設	▶ 台風15号、19号により各施設で被災（法人全体の施設・設備の被災総額1億1,614万円）。「杜の家くりもと」は地域の福祉避難所にもなった	
2003.3	2017.3	2020.2	
▶ 法人最初の施設「杜の家」（千葉県香取市）開設（現「杜の家くりもと」）。特別養護老人ホームの事業からスタート	▶ 「社会福祉法人愛川舜寿会」「社会福祉法人ゆうゆう」と3社福アライアンスを締結 ▶ 「ツルガソネ保育所」（埼玉県八潮市）を開設	▶ 「イワベの保育所」（千葉県香取市）を開設。法人として3事業所目の保育所	
2012.10	2017.4	2020.4	
▶ 法人最初の訪問介護ステーション「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）を開設	▶ 職員住宅「栗源ハウス」（千葉県香取市）設置 ▶ 「香取CCC」（千葉県香取市）を開設	▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内に「1K good neighbors JAM & PASTE」のジャム小屋を設置	
2013.7	2014.4	2022.10	
▶ 「杜の家やしお」で無料学習支援サービス提供開始	▶ 「地域ケアよしかわ」（埼玉県吉川市）開設 ▶ 在田正則が理事長を退任し、飯田大輔が理事長に就任	▶ 「地域ケアそうか」（埼玉県草加市）開設	
2005.7	2018.3	2023.8	
▶ 法人名称を「社会福祉法人福祉楽団」に変更	▶ 「栗源第一薪炭供給所」（千葉県香取市）開設	▶ 「はたらくデイ・1K」（千葉県香取市）開設	
2008.4	2014.11	2023.8	
▶ 「杜の家やしお」（埼玉県八潮市）開設	▶ 「地域ケアよしかわ」で「みんなの食堂」を開始 ▶ 法人最初の職員住宅「オープントセサミ」（埼玉県八潮市）設置	▶ 「はたらくデイ・1K」（千葉県香取市）開設	
2015.11	2018.4		
▶ ケア記録ソフト「ケアコラボ」を全事業所で導入	▶ 「栗源第一薪炭供給所」敷地内にスウィートポテト専門店「1K sweet potato」（現「1K good neighbors POTATO & CAFE」）を併設		

法人名称	社会福祉法人 福祉楽団（2001年12月7日登記）					
法人番号	1040005013430					
主たる事務所	〒261-7112 千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1 電話：043-307-2828 フax: 043-307-4848					
理事長	飯田 大輔					
理事	安部 明子 飯田 大輔 石間 太朗 岩田 直樹	（東京都足立区） （千葉県千葉市） （東京都墨田区） （千葉県船橋市）	杜の家なりた事業部長 理事長 杜の家やしお事業部長 常務理事（コーポレート統括部長）	大枝 真弓 大原 裕介 馬場 拓也	（千葉県千葉市） （北海道当別町） （神奈川県愛川町）	常務理事 （福）ゆうゆう理事長 （福）愛川舜寿会 理事長
監事	櫛田 啓	（京都府京丹後市）	（福）みねやま福祉会 理事	星川 望	（東京都練馬区）	税理士
評議員	在田 健一 伊藤 佳世子 井上 徹 こまちだ たまお 篠塚 佳典	（千葉県旭市） （千葉県千葉市） （千葉県香取市） （千葉県長生郡） （千葉県香取市）	（有）アリタホックサイエンス 代表取締役 （福）りべるたす 理事長 香取市議会議員 芸術家 芝山農園 代表取締役	竹嶋 信洋 竹蓋 伸六 筒井 啓介 平野 昇 妻鹿 ふみ子	（千葉県千葉市） （千葉県香取市） （千葉県木更津市） （NPO）コミュニティワークス 理事長 平野自動車 代表 （東京都世田谷区）	（株）ベストサポート 代表取締役 （福）香取市社会福祉協議会 会長 （NPO）コミュニティワークス 理事長 平野自動車 代表 東海大学 教授
評議員選任・解任委員	伊藤 新一郎 鶴 領太郎	（北海道札幌市） （静岡県藤枝市）	北星学園大学 教授 静岡福祉大学 助教	林 健太郎	（東京都稻城市）	慶應義塾大学 専任講師
法律顧問	大槻 厚志	（千葉県弁護士会・県民合同法律会計事務所）				
事業の種類	1. 第一種社会福祉事業 (1) 特別養護老人ホームの経営 2. 第二種社会福祉事業 (1) 老人デイサービス事業の経営 (2) 老人短期入所事業の経営 (3) 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営 (4) 老人居宅介護等事業の経営 (5) 障害福祉サービス事業の経営 (6) 一般相談支援事業の経営 (7) 特定相談支援事業の経営 (8) 障害児通所支援事業の経営 (9) 障害児相談支援事業の経営 (10) 社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営	3. 公益を目的とする事業 (1) 居宅介護支援事業 (2) 配食サービス事業 (3) 自家用車有償旅客運送事業 (4) 社会福祉を目的とする事業の経営に関する指導及び助言を行う事業 (5) 無料又は低額な料金で子どもの学習を支援する事業 (6) 企業主導型保育事業 (7) 社会福祉の増進に資する人材の育成・確保に関する事業	4. 収益事業 (1) 不動産賃貸業			
所轄庁	千葉県					

メディア掲載（主なもの）

新聞

- 毎日新聞 | 2024年3月27日
>「地域社会で育つ」模索 開業予定の児童養護施設、新たな試み
- 千葉日報 | 2024年2月11日
>福祉避難所に支援チーム 千葉市の法人理事長中心能登地震、輪島 被災職員に代わり介助
- 福祉新聞 | 2023年12月26日
>ヤマト福祉財団小倉昌男賞 福祉楽団の飯田理事長、オリーブの樹の加藤理事長
- 朝日新聞 | 2023年9月28日
>児童養護施設 新たな形へ 人と触れ合う成長の場

雑誌・広報誌

- 中央法規出版社 | 2024年1月26日『おはよう21』2024年3月号
>鎌田實と語る 介護の“魅力”「住み慣れた地域で最期まで」を本気で実現するために
- マガジンハウス | 2023年10月6日『ポパイ』2023年11月号
>福祉の現場を知りたくて。
- 社会福祉法人全国福祉協議会 | 2023年5月1日『月刊福祉』第106巻第5号
>商品の価値を高め、正当に勝負する「恋する豚研究所」に見るこれらかの福祉

テレビ

- NHK BSプレミアム | 2023年11月21日
>ヒューマニエンス 40億年のたぐらみ
>死の迎え方 ヒトの穏やかな死とは

ラジオ

- J-WAVE 81.3 FM | 2023年10月29日
>ARROWS・LITTLE SUNSHINE CLUB
>社会福祉法人 福祉楽団が目指す未来！

その他のメディア
掲載はこちらから
ご覧いただけます



スキマ基金

2023年度（2023.4.1 - 2024.3.31）に1,326,030円をご寄附いただきました

制度の「スキマ」をフォローする福祉実践を育てる基金です。
ご支援をよろしくお願ひいたします。

2021年5月より 税額控除対象法人となりました。
当法人への寄附については、税額控除を受けることができます。

福祉楽団サポーターズになる

福祉楽団の“現場”を支えるさまざまなプログラムに活用させていただきます。
福祉実践を育していくメンバーシップ制度です。センターの方には、
年2回発行の広報誌『GAKUNAVI』や、年1回発行の統合報告書をお届けします。

「暮らしのルールブック」を導入



障害のある人などに暮らしのきほんやマナーを伝え
る教科書を整備し、職員向けに研修を行っています。

地域の子どもたちとお菓子づくり



家や学校のほか第三の居場所づくりとして、地域
の子どもたちとお菓子づくりの会を開催しています。

1口
年3千円
ご寄附

これまで
17,309,687円を
活用させていただきました

業務用洗濯機を更新



洗濯機を更新して介護の後方業務の効率化をはかり、
労働負荷を軽減するための設備導入をすすめます。

プロジェクトをサポートする

1 | ごはんプロジェクト



みんなの食堂で
ごはんを30人分用意できます

例
5千円
ご寄附

2 | 森ではたらくプロジェクト



障害のある人が使う
安全防護具を3人分用意できます

例
1万円
ご寄附

3 | 少年院から地域にかえるプロジェクト



出院してすぐに必要な
下着や着替えなどを1人分用意できます

例
1万円
ご寄附

ひとりでご飯を食べている子どもや、お年寄りなど
と、みんなでご飯食べる活動を行っています。

これまで 2,971,433円を
活用させていただきました

これまで 126,500円を
活用させていただきました

これまで 667,083円を
活用させていただきました

OUR KIDS 基金

2023年度（2023.4.1 - 2024.3.31）に33,139,874円をご寄附いただきました

2024年新設 児童養護施設の創設と子どもの生活をサポートする

福祉楽団では、千葉県習志野市に「児童養護施設」や子どもの「一時保護所」など、子どもを包括的に支援する拠点「実験パークサイドハウス」を整備します。私たちが取り組む子どもへの支援は、現行の社会保障制度や子ども福利制度では実現不可能です。子どもの当たり前の権利や生活を守るために、社会のより良い未来のために、「OUR KIDS 基金」を創設しました。皆様からのご寄附をお願いいたします。

全額損金算入が可能な寄附制度があります！

法人で、児童養護施設の創設のために100万円以上の寄附をご検討の場合は、全額損金算入が可能な「受取者指定寄附金制度」がご利用いただけます。福祉楽団の担当者までご相談ください。



ご寄附総額 34,465,904円

(2023.4.1 - 2024.3.31)

ご寄附をありがとうございました

SOMPOちきゅう倶楽部、PGATOUR International Japan,LLC / 株式会社ZOZO、堀田聰子、お名前の非公表など2名、有限会社ブライトピック、株式会社大成、株式会社マルハン、杉田大樹、公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会千葉県協会、金井一薰、永嶋布美、株式会社富野工務店、岩崎忠之、お名前の非公表など1名、松原由美、椎名アサ子、金井圭、井上由起子、田嶋夕紀、久古賢一、お名前の非公表など4名、富岡豊、曾田進、馬上丈司、佐藤義勝、富士フィルムビジネスソリューションジャパン株式会社、吉川中央ロータリークラブ、株式会社伊賀屋、宮本勝行、吉田賢、和泉純子、大同知子、株式会社トヨタレンタリース千葉、税理士法人フロイデ、宅間厚、興梠光冠、大久保夏樹、小田卓也、高野麻結子、アーク日本株式会社、斎藤幸平、星川望、小河光治、吉羽房子、お名前の非公表など5名、田中一平、TUGBOAT PROJECT前田紗希、梅澤明子、麦屋高広、貴田美津子、浜薙浩美、大枝安泰、株式会社みのりや米店、長田奈穂美、稻田遼太、林健太郎、妻鹿ふみ子、一般社団法人オーウェル、よしかわ地域食堂ネットワーク、森啓祐、宮野悠里、千葉県立佐原白楊高等学校同窓会、澤田麻里子、高木達恵、石久美、株式会社ウーレン、木内智紀、原田祐馬、株式会社ベストサポート、川上嘉明、お名前の非公表など5名、家合勇夫、石井秀則、松井秋美、関自治会、天井響子、田中耕太、高橋初江、石川真祐美、飯島利夫、本宮曜、高橋久美、原元利成、宮入謙、菅野道生、篠原晴子、久保貴寛、岩田祐佳梨、藤田敦子、医療法人社団うちやまクリニック、大谷匠、末定海、櫻井茂雄、橋爪秀孝、株式会社すずとみフーズ、有限会社西商店、岩上章子、林信貴、渡辺清美、糸文野、山田理恵子、高瀬比左子、木川俊哉、吉田雄、奥津雷三、吉田拓実、吉田奈美子、hair & faceef、hair & faceLittleLeaf、株式会社ModeCollection、瀧澤政美、小山田桃香、香取地区更生保護女性会、畔蒜真知子、勝又恵里子、光城元博、本橋新一郎、今西邦仁、久米隼人、志賀久美子、鈴木麻紀、真田雅、今井丈仁、本川達雄、鶴領太郎、御代田太一、島村たか子、片山智美、田原明夫、向後仁志、岩田俊夫、山口農場、宇井正一、お名前の非公表など25名、太田、松井周星、宮下富佐子、香取市高齢者クラブ栗原支部、香取秀雄、平山初子、斎木貞夫、玉置隼人、竹村雅裕、石間福子、濱名英倫、中村誠洋、小林香織、石井茂美、田中ハル、高橋真理子、お名前の非公表など5名

（敬称略）

私たちも応援しています



むぎ や
麦屋 高広 さまの奥さま
「地域ケアよしかわ」
みんなの食堂 利用者



松原 由美 さま
早稲田大学人間科学部
教授



幸野 拓真 さま
有限会社西商店
マネージャー

妊娠中にコロナがはじまり、ずっと働いていた職場に戻れなくなって、不安を感じていました。市内の子育て支援センターで「みんなの食堂 ころあい」を教えてもらったのが、福祉楽団を知るきっかけです。食堂ではさまざまな人とコミュニケーションがとれるし、子どもたちもボランティアをさせてもらえるので、良い経験になっています。いつもありがとうございます。

日本を変える力が、福祉の世界から芽吹きはじめている。制度を活用しながら制度を超え、福祉を実践しながら福祉を超えて、未来を創り続けている。福祉楽団をみてると、福祉はこんなにも自由で、イノベーティブでワクワクするものだったのかと驚かされます。今の制度では出来ない言い訳を考えるよりも、実装に向けて走り続ける福祉楽団を応援しています。

栗原地域（千葉県香取市）は高齢者が多いので、「杜の家くりもと」はこの地域になくてはならない存在です。建物や車を綺麗に管理していることや、職員の挨拶が元気なところが、施設の安心感につながります。私たちはガソリンスタンドだけでなく、この地域の困りごとに応対する便利屋的な事業もしています。これからも一緒にこの地域を支えてくれることを期待しています。

▶ スキマ基金 | ご寄附の方法

全額損金算入を
ご希望の法人のみなさま

法人で100万円以上の寄附をご検討の場合は、全額損金算入ができる寄附制度があります。共同募金会の「受配者指定寄附金制度」(※)に申し込み、審査・承認がされた場合のみ、全額損金算入が可能になります。

「スキマ基金 | 寄附申込書」を お送りください

ご利用には事前の審査があります。寄附申込書に
ご記入のうえ、福祉楽団コーポレート統括部へメー
ルか郵便でお送りください。



スキマ基金 | 寄附申込書
ダウンロードはこちら
<https://www.gakudan.org/sukima/>



寄附金控除・税額控除を ご希望のみなさま

所得税の寄附金控除または税額控除が受けられます。税額控除を選択され
る場合は、当法人からの寄附金の領収証と『税額控除に係る証明書』が確
定申告の際に必要となります。



クレジットカードで



銀行で



郵便局で



遺産・不動産

「スキマ基金」専用のWebサイト
から、クレジットカードですぐに
手続きできます。



<https://bit.ly/3WZthNf>

下記の口座でお受けしています。
領収書をご希望される場合は、
福祉楽団コーポレート統括部まで
メールでご連絡ください。

佐原信用金庫 本店
普通 0589540
社会福祉法人 福祉楽団
フクシガクダン

この冊子に同封の払込取扱票を
お使いください。下記の口座で
もお受けしています。

郵便振替
口座番号 00180-8-762018
加入者名 社会福祉法人
福祉楽団

土地や物品によるご支援をいた
だける場合は、福祉楽団コーポ
レート統括部までお気軽にご相
談ください。

▶ ご寄附いただいた方へ

恋する豚研究所のハムとベーコンと
ソーセージのセットを贈ります

10,000円以上ご寄附いただいた方
に、返礼品として、恋する豚研究所の
おいしいハムとベーコンとソーセージ
のセットを進呈します。



お問い合わせ

担当 福祉楽団 コーポレート統括部



向後 (こうご)



篠塚 (しのつか)

電話 043-307-2828
メール sukima@gakudan.org
郵便 〒261-7112
千葉県千葉市美浜区中瀬二丁目6番地1
WBG マリブイースト12階